

9. 女性の人権について

(1) 配偶者や交際相手からの暴力

問 24. あなたは、これまでに配偶者や交際相手から、次のことをされたことがありますか。また、身近な人で同様の経験をした人がいますか。該当するものに○をつけてください。

配偶者や交際相手からの暴力について、5項目について回答者自身について尋ねたところ『経験がある』(=「何度もあった」+「1・2度あった」)人の割合が最も高いのは「①身体的暴力(なぐる、ける、物を投げつける、突き飛ばすなどの身体に対する暴力を受けた)」と「②精神的暴力(人格を否定するような暴言や、交友関係を細かく監視するなどの精神的な嫌がらせを受けた、あるいは、あなたやあなたの家族に危害が加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫を受けた)」(各13.4%)で、以下、「⑤社会的暴力(身内や友達とのつきあいや外出を制限されたり、携帯電話のメールや通話履歴をチェックされた)」(7.1%)、「④経済的暴力(生活費などの必要なお金を渡されなかったり、お金の使い方を細かくチェックされた)」(5.8%)、「③性的暴力(いやがっているのに性的な行為を強要された、あるいは避妊を拒否された、あるいは中絶を強要された)」(5.1%)の順となっている。

性別に『経験がある』人の割合をみると、女性は「①身体的暴力」(18.6%)、「②精神的暴力」(18.0%)、「⑤社会的暴力」(9.1%)、「④経済的暴力」(7.9%)、「③性的暴力」(7.2%)と続き、男性は「②精神的暴力」(7.0%)、「①身体的暴力」(5.9%)、「⑤社会的暴力」(4.1%)、「④経済的暴力」(2.7%)、「③性的暴力」(2.0%)の順となっている。いずれの項目についても女性の割合が男性を上回っている。

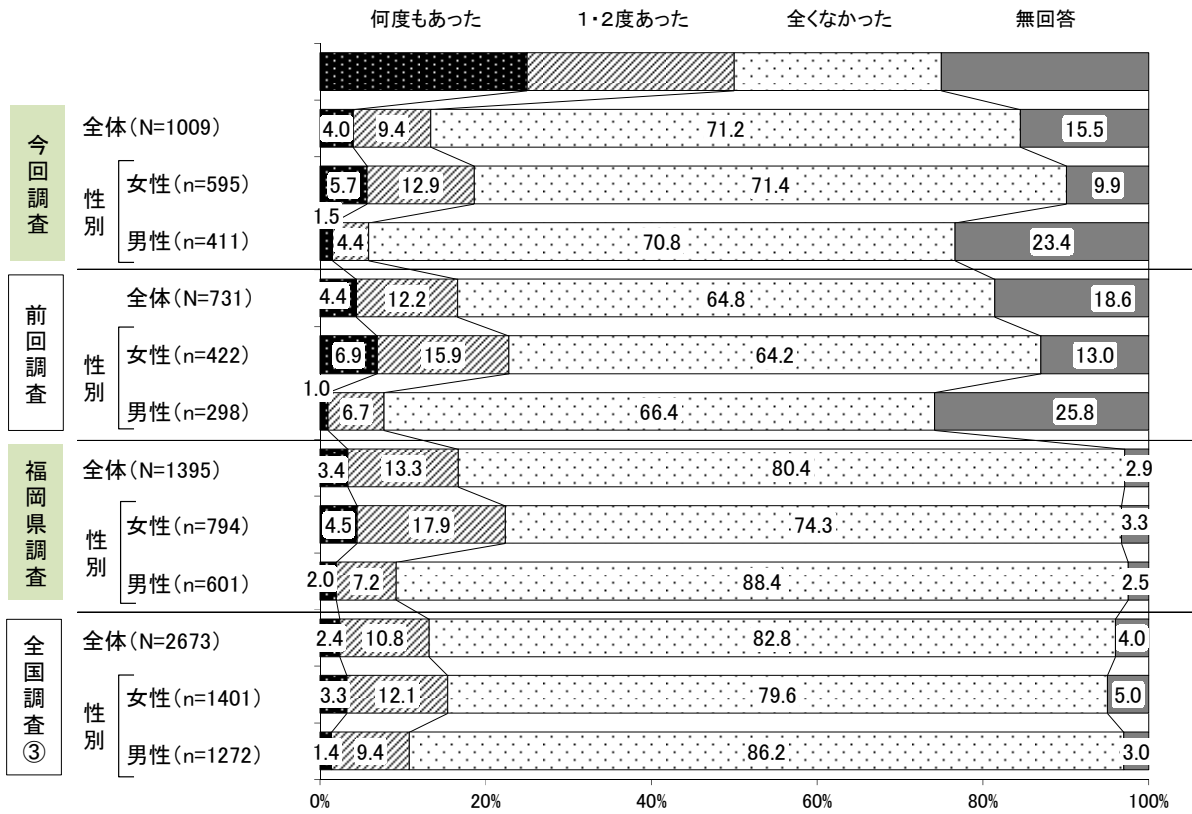
前回調査と比較すると、『経験がある』人の割合は「①身体的暴力」、「③性的暴力」で全体、男女とも前回の値を下回っているが、「②精神的暴力」は女性が前回の値を3.3ポイント上回っている。

福岡県調査と比較すると、『経験がある』人の割合は、全体、男女とも、いずれの行為についても県の値を下回っている。

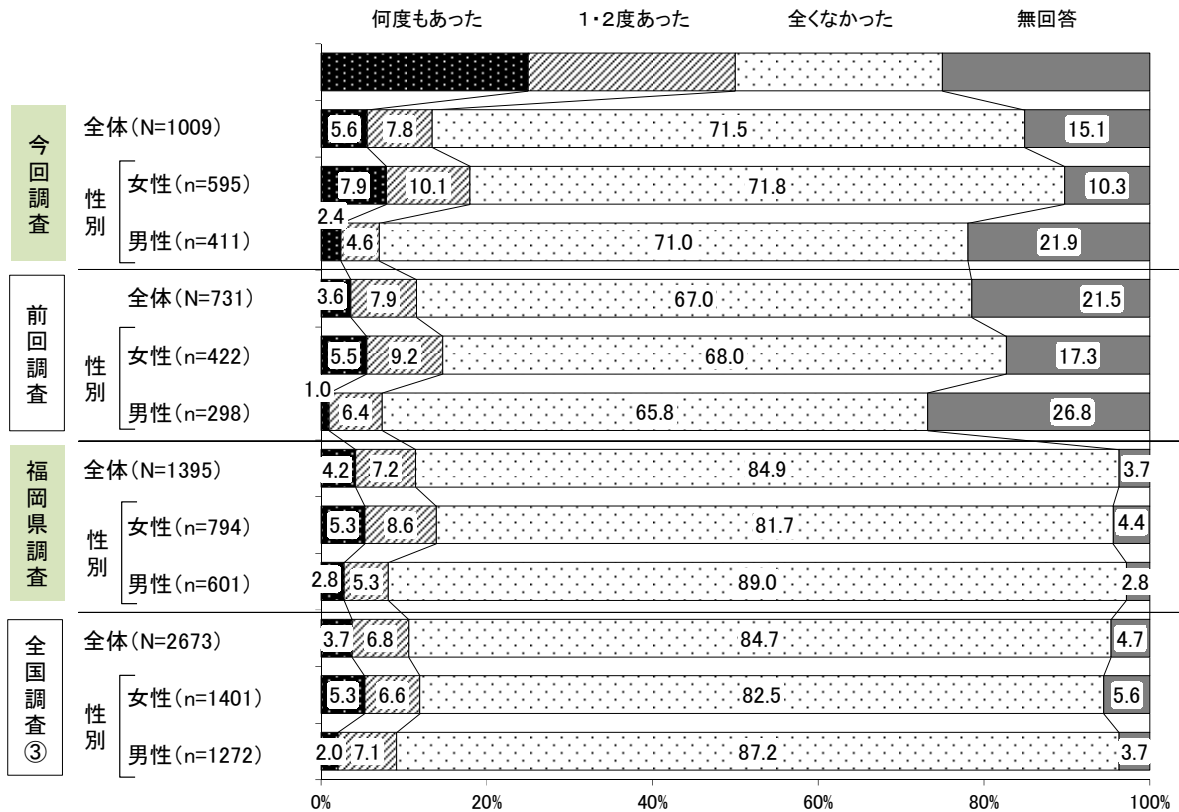
全国調査と比較すると、『経験がある』人の割合は、「①身体的暴力」、「②精神的暴力」で、国の値を全体、女性が上回り、「③性的暴力」、「④経済的暴力」では全体、男女ともが上回っている。このことから、大川市では全国と比べて女性が配偶者や交際相手から暴力を受ける割合が高い傾向がみられる。

■配偶者や交際相手からの暴力（全体、性別）■

<①身体的暴力>

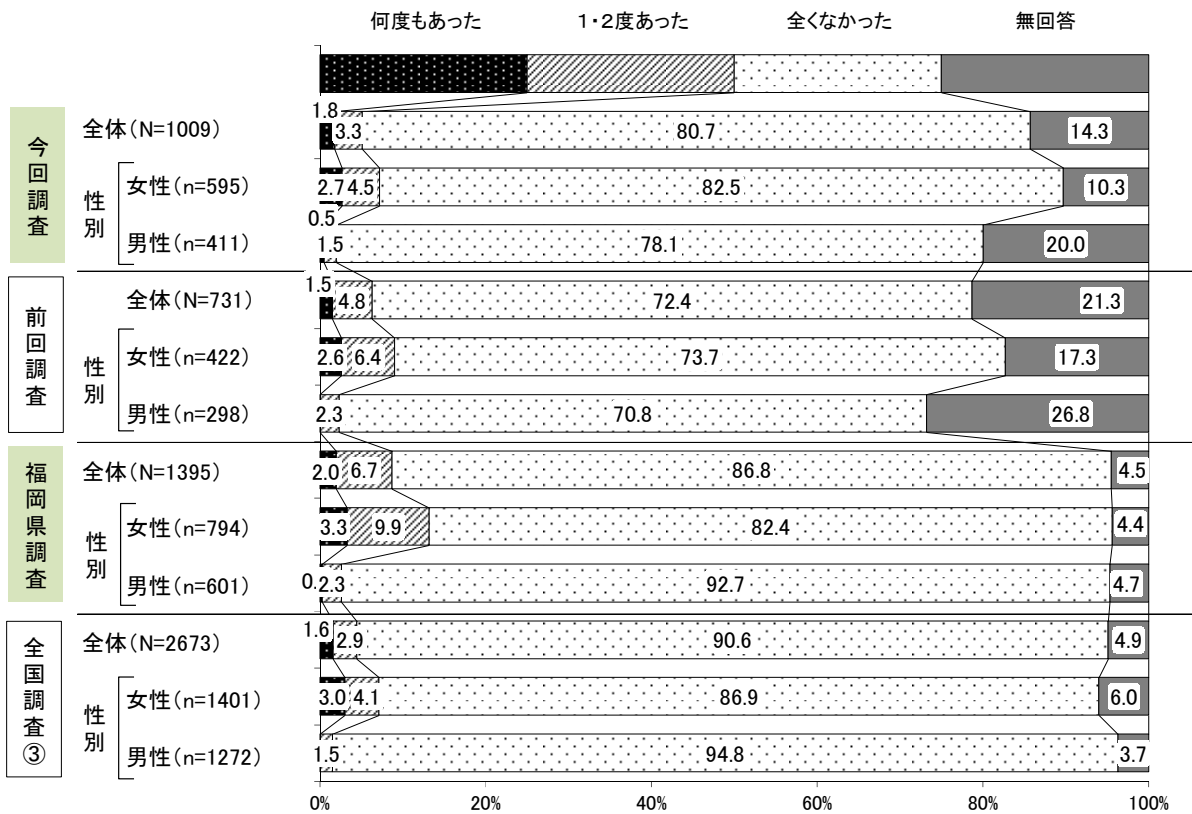


<②精神的暴力>

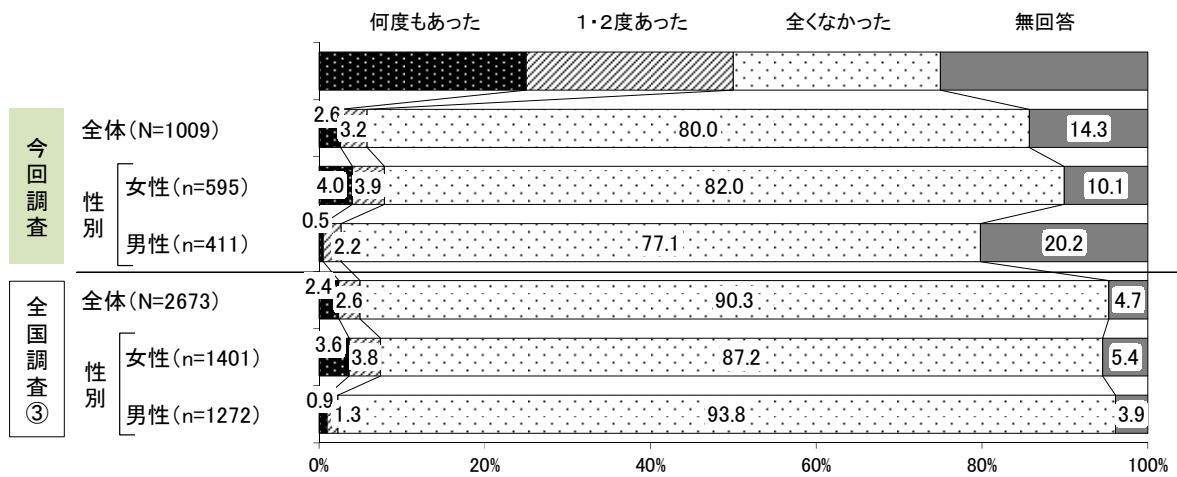


■配偶者や交際相手からの暴力（全体、性別）■

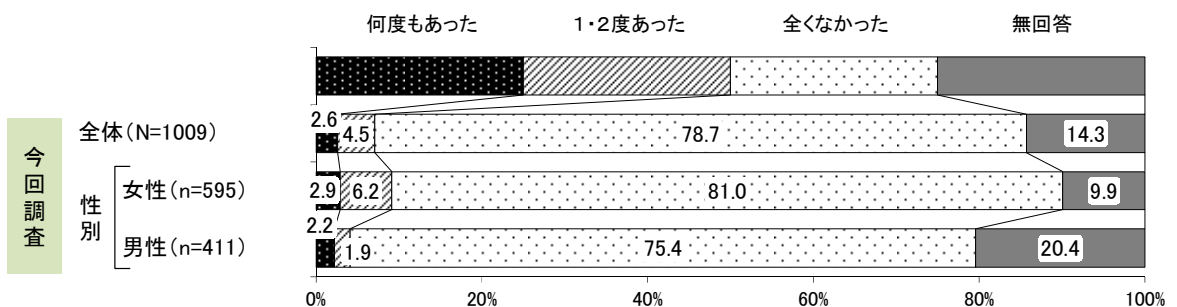
<③性的暴力>



<④経済的暴力>



<⑤社会的暴力>

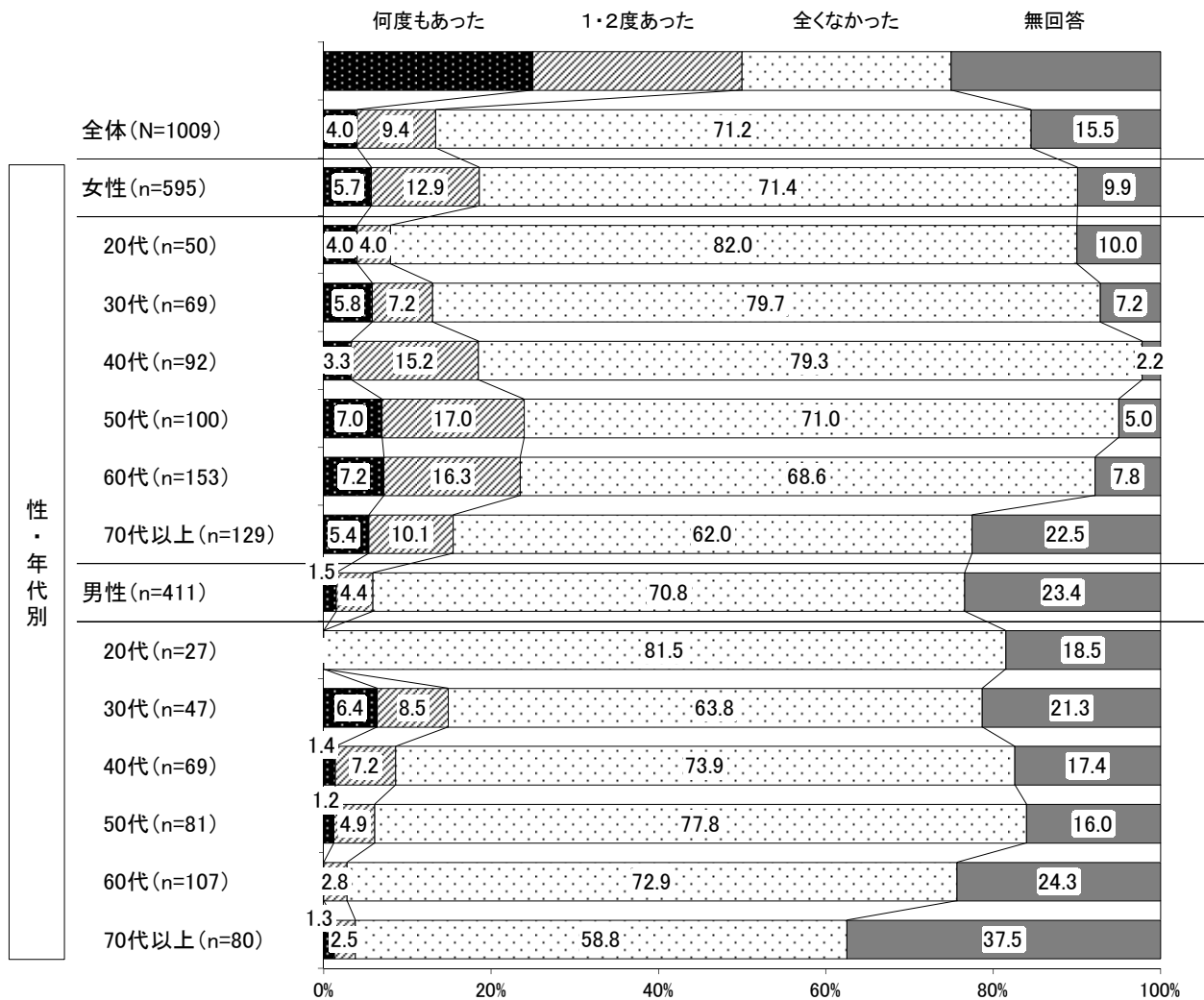


①身体的暴力

性・年代別にみると、『経験がある』と回答した人は、女性では50代（24.0%）、60代（23.5%）、40代（18.5%）の順となっている。また男性では30代（14.9%）が1割以上となっている。

■配偶者や交際相手からの暴力（性・年代別）■

<①身体的暴力>

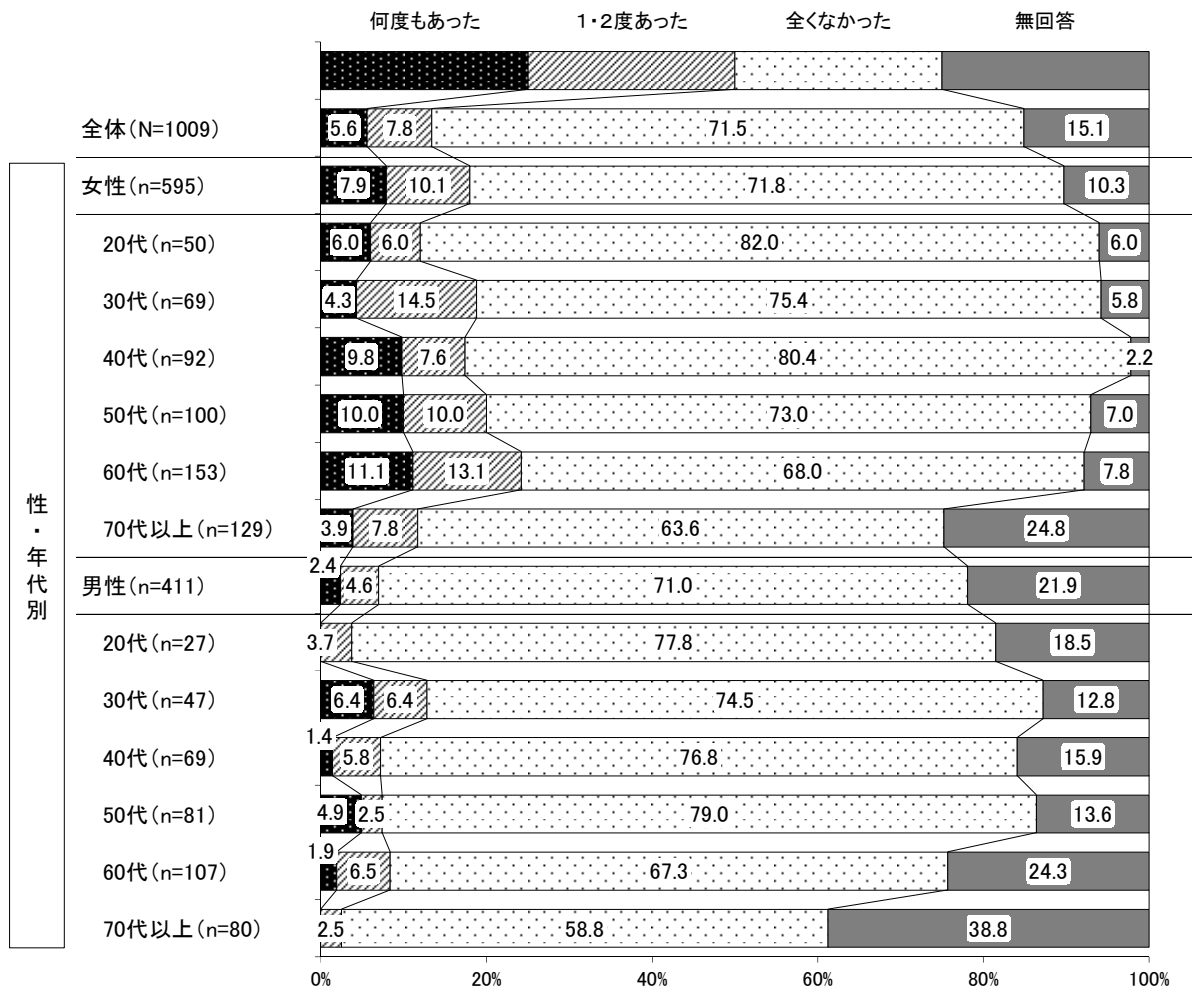


②精神的暴力

性・年代別にみると、『経験がある』と回答した人は、女性で60代(24.2%)、50代(20.0%)、30代(18.8%)の順となっている。また男性では30代(12.8%)が1割を超えている。

■配偶者や交際相手からの暴力(性・年代別) ■

<②精神的暴力>

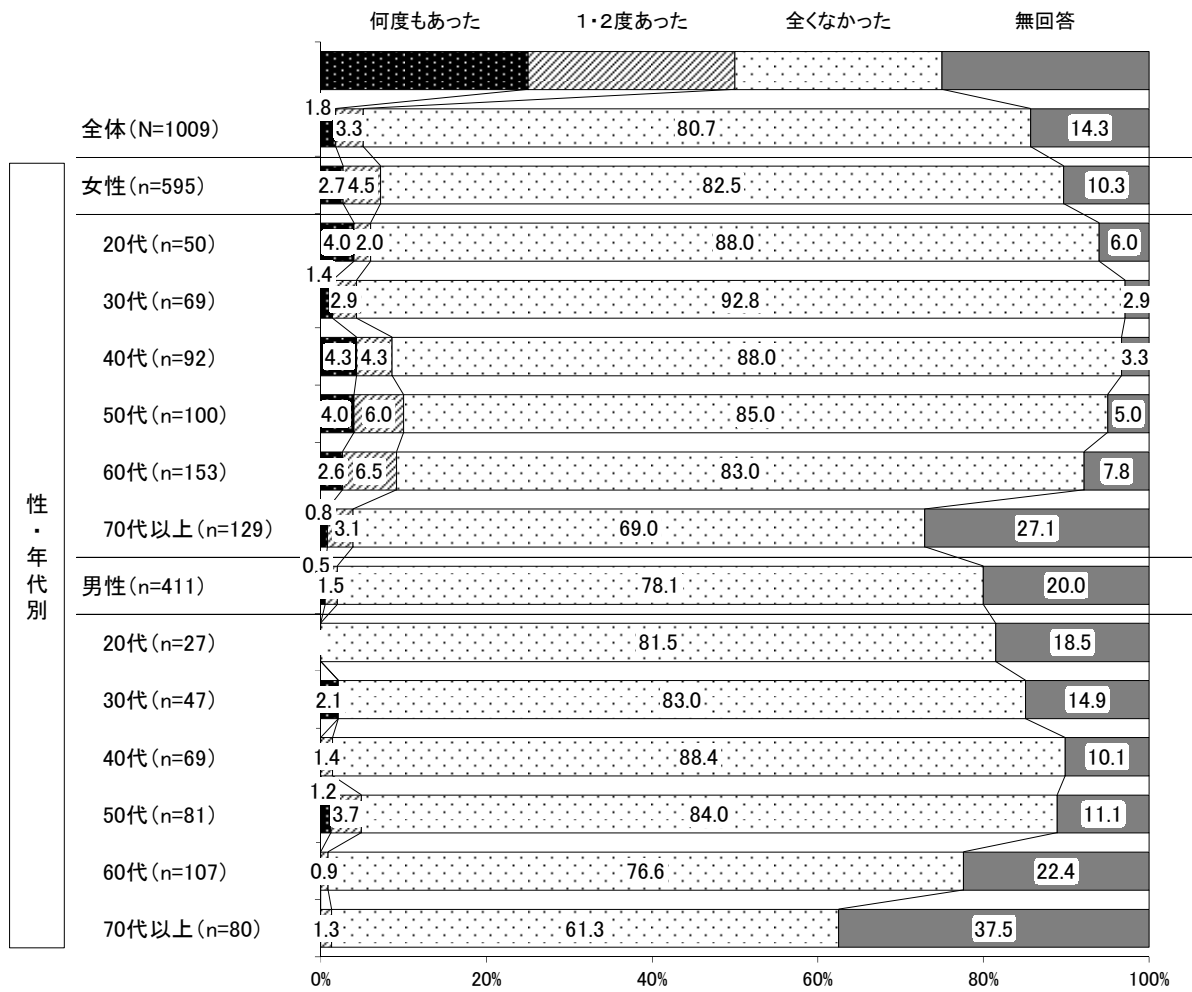


③性的暴力

性・年代別にみると、『経験がある』と回答した人は、女性で50代(10.0%)、60代(9.1%)、40代(8.6%)の順となっている。また男性では50代が4.9%で最も高い割合となっている。

■配偶者や交際相手からの暴力(性・年代別) ■

<③性的暴力>

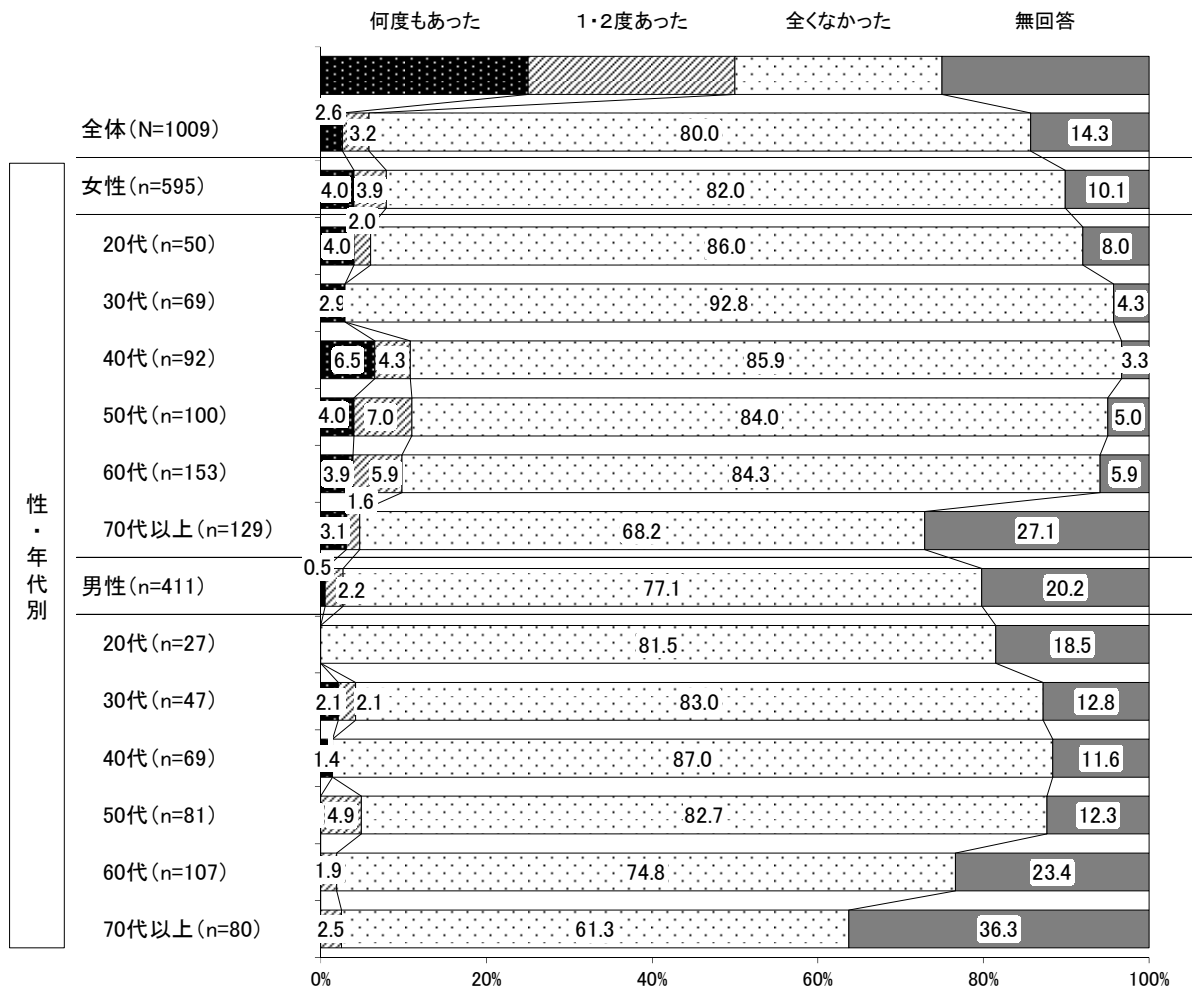


④経済的暴力

性・年代別にみると、『経験がある』と回答した人は、女性で 50 代（11.0%）、40 代（10.8%）、60 代（9.8%）の順となっている。また男性では 50 代（4.9%）、30 代（4.2%）の割合が比較的高い。

■ 配偶者や交際相手からの暴力（性・年代別） ■

<④経済的暴力>

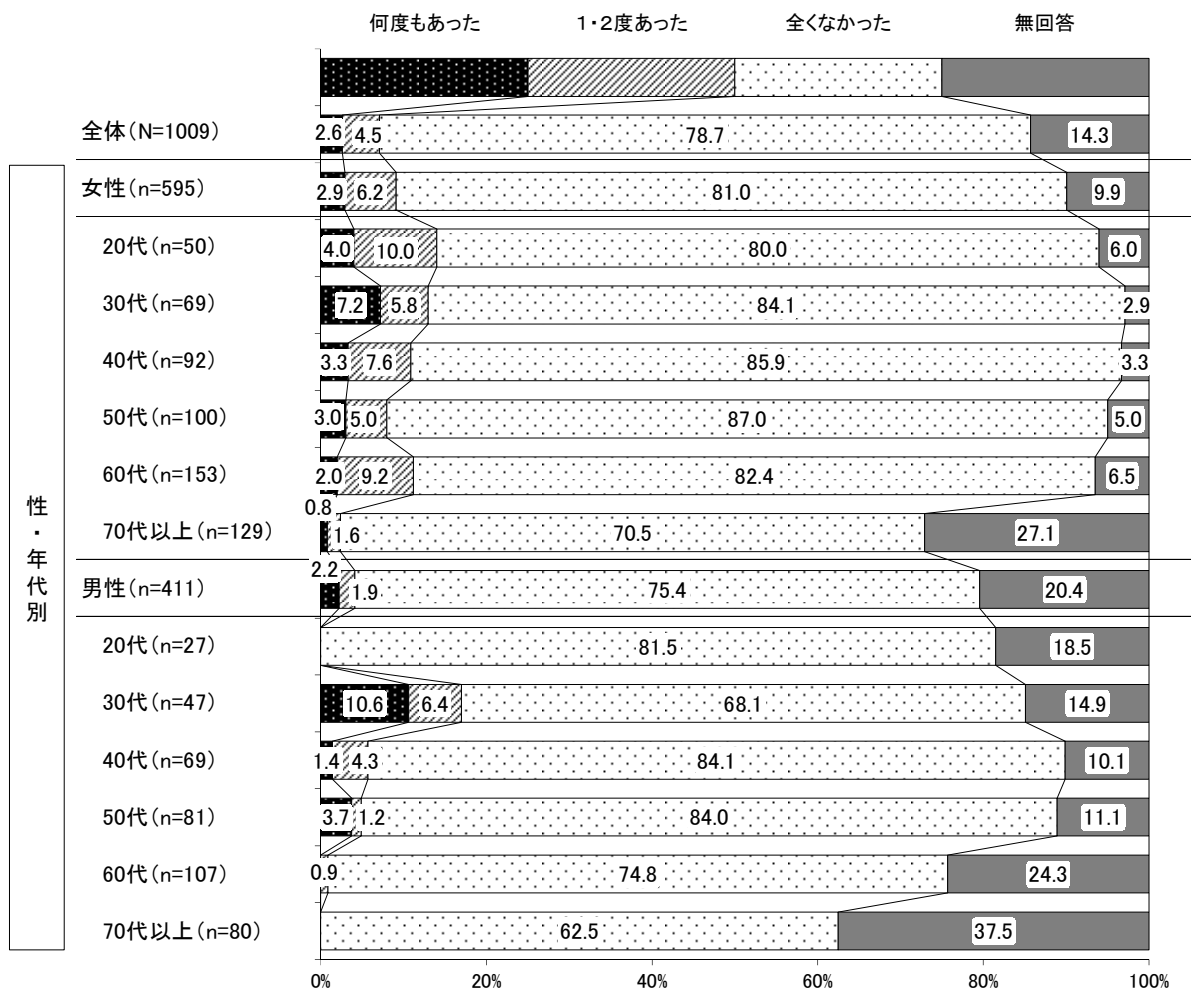


⑤社会的暴力

性・年代別にみると、『経験がある』と回答した人は、女性で20代（14.0%）、30代（13.0%）、60代（11.2%）の順となっている。社会的暴力については、前出の①～④の暴力行為と異なり、女性20代～30代の若年層の割合が高いことが特徴的である。また男性では30代（17.0%）が突出して高い割合となっている。

■配偶者や交際相手からの暴力（性・年代別）■

<⑤社会的暴力>



身近な人で同様の経験をした人がいるかどうか尋ねたところ、「①身体的暴力」(8.3%)の割合が最も高く、次いで「②精神的暴力」(5.9%)、「④経済的暴力」(3.8%)、「⑤社会的暴力」(3.0%)、「③性的暴力」(2.2%)と、自分が経験をした暴力とは順序にやや違いがみられる。

「①身体的暴力」以外は男性が女性の割合を上回っているものの、性年代別にみると、女性30代は「①身体的暴力」、「②精神的暴力」、「④経済的暴力」の3項目ですべての年代において最も高い割合となっていることが特徴的である。また、男性において「③性的暴力」は年代が下がるにつれて割合が高くなる傾向がみられる。

■身近な人で暴力を経験した人の有無(性・年代別)■

	サンプル数	①身体的暴力		②精神的暴力		③性的暴力		④経済的暴力		⑤社会的暴力		
		い身近に経験した人が	いない・無回答	い身近に経験した人が	いない・無回答	い身近に経験した人が	いない・無回答	い身近に経験した人が	いない・無回答	い身近に経験した人が	いない・無回答	
全体	1009	8.3	91.7	5.9	94.1	2.2	97.8	3.8	96.2	3.0	97.0	
性・年代別	女性計	595	8.7	91.3	5.7	94.3	1.8	98.2	3.5	96.5	2.7	97.3
	20代	50	10.0	90.0	6.0	94.0	2.0	98.0	4.0	96.0	4.0	96.0
	30代	69	18.8	81.2	13.0	87.0	5.8	94.2	8.7	91.3	5.8	94.2
	40代	92	10.9	89.1	5.4	94.6	2.2	97.8	5.4	94.6	6.5	93.5
	50代	100	8.0	92.0	5.0	95.0	-	100.0	1.0	99.0	-	100.0
	60代	153	9.8	90.2	6.5	93.5	2.0	98.0	3.3	96.7	2.0	98.0
	70代以上	129	0.8	99.2	1.6	98.4	0.8	99.2	1.6	98.4	0.8	99.2
	男性計	411	7.8	92.2	6.3	93.7	2.7	97.3	4.1	95.9	3.4	96.6
	20代	27	7.4	92.6	7.4	92.6	7.4	92.6	7.4	92.6	7.4	92.6
	30代	47	12.8	87.2	6.4	93.6	4.3	95.7	4.3	95.7	6.4	93.6
40代	69	11.6	88.4	8.7	91.3	2.9	97.1	4.3	95.7	4.3	95.7	
50代	81	8.6	91.4	4.9	95.1	2.5	97.5	3.7	96.3	1.2	98.8	
60代	107	7.5	92.5	8.4	91.6	1.9	98.1	5.6	94.4	3.7	96.3	
70代以上	80	1.3	98.8	2.5	97.5	1.3	98.8	1.3	98.8	1.3	98.8	

(単位:%)

(2) 配偶者等から暴力行為を最初にうけたころの対応

【問 24 で1つでも「何度もあった」または「1・2度あった」と答えた方におたずねします。】

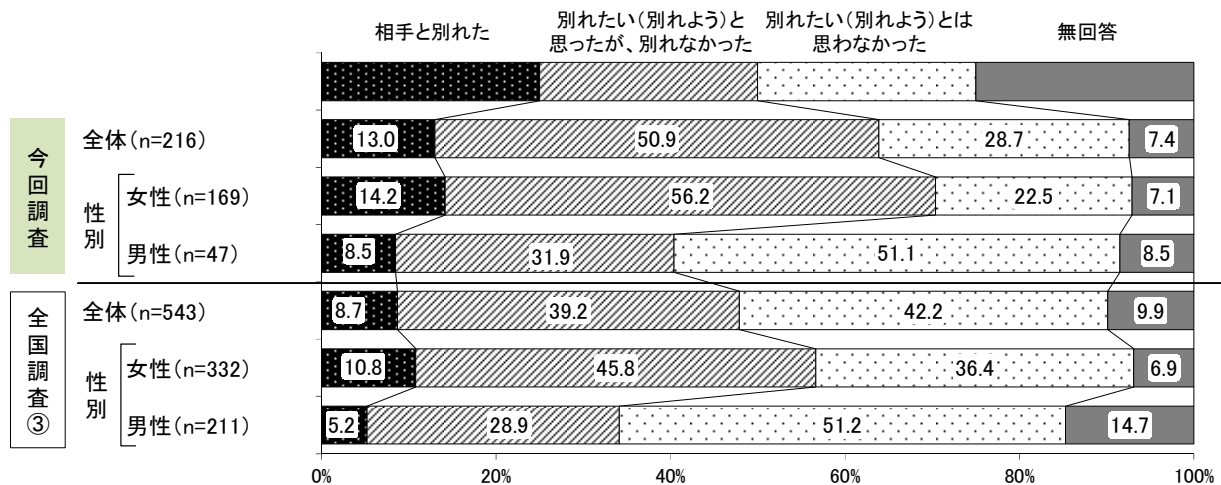
問 24SQ1. あなたは、あなたの配偶者等からそのような行為を最初にうけたころ、どうしましたか。

配偶者等から暴力行為を最初にうけたころの対応を尋ねたところ、「別れたい（別れよう）と思ったが、別れなかった」（50.9%）の割合が最も高く、次いで「別れたい（別れよう）とは思わなかった」（28.7%）、「相手と別れた」（13.0%）の順となっている。

性別にみると、女性は「別れたい（別れよう）と思ったが、別れなかった」（56.2%）の割合が最も高く、男性は「別れたい（別れよう）とは思わなかった」（51.1%）が最も高くなっており、男女間での相違がみられる。

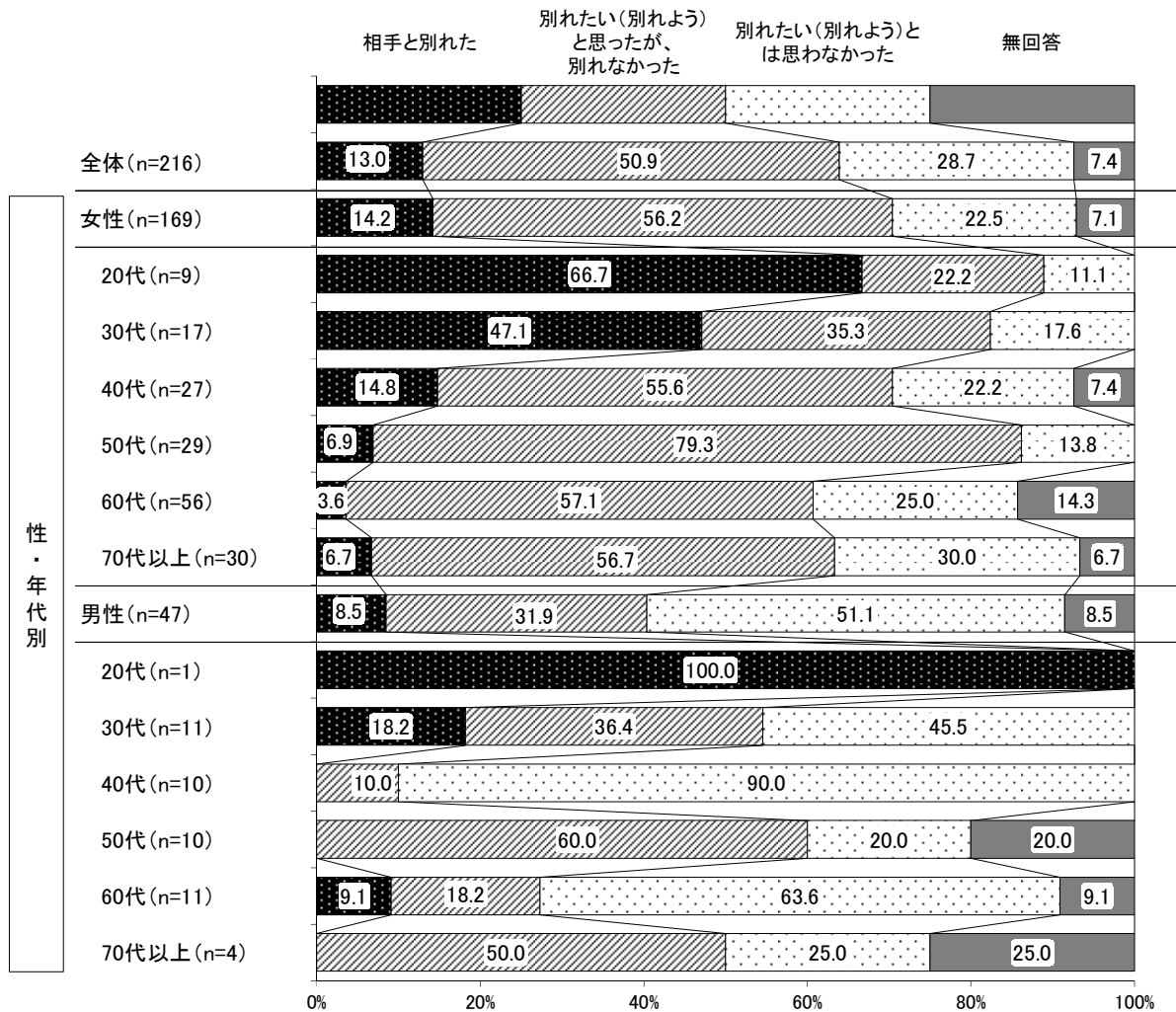
全国調査と比較すると、「別れたい（別れよう）とは思わなかった」で国の値（42.2%）を13.5ポイント下回り、逆に「別れたい（別れよう）と思ったが、別れなかった」で国の値（39.2%）を11.7ポイント上回っており、このことにより順位が逆転が生じている。性別にみても同様であるが、この傾向は女性に強くあらわれている。

■ 配偶者等から行為を最初にうけたころの対応（全体、性別） ■



性・年代別にみると、女性は年代が下がるにつれて、「相手と別れた」と回答した割合が高くなる傾向がみられる。男性については、サンプル数が少ないため、参考程度の掲載とする。

■ 配偶者等から行為を最初にうけたころの対応（性・年代別） ■



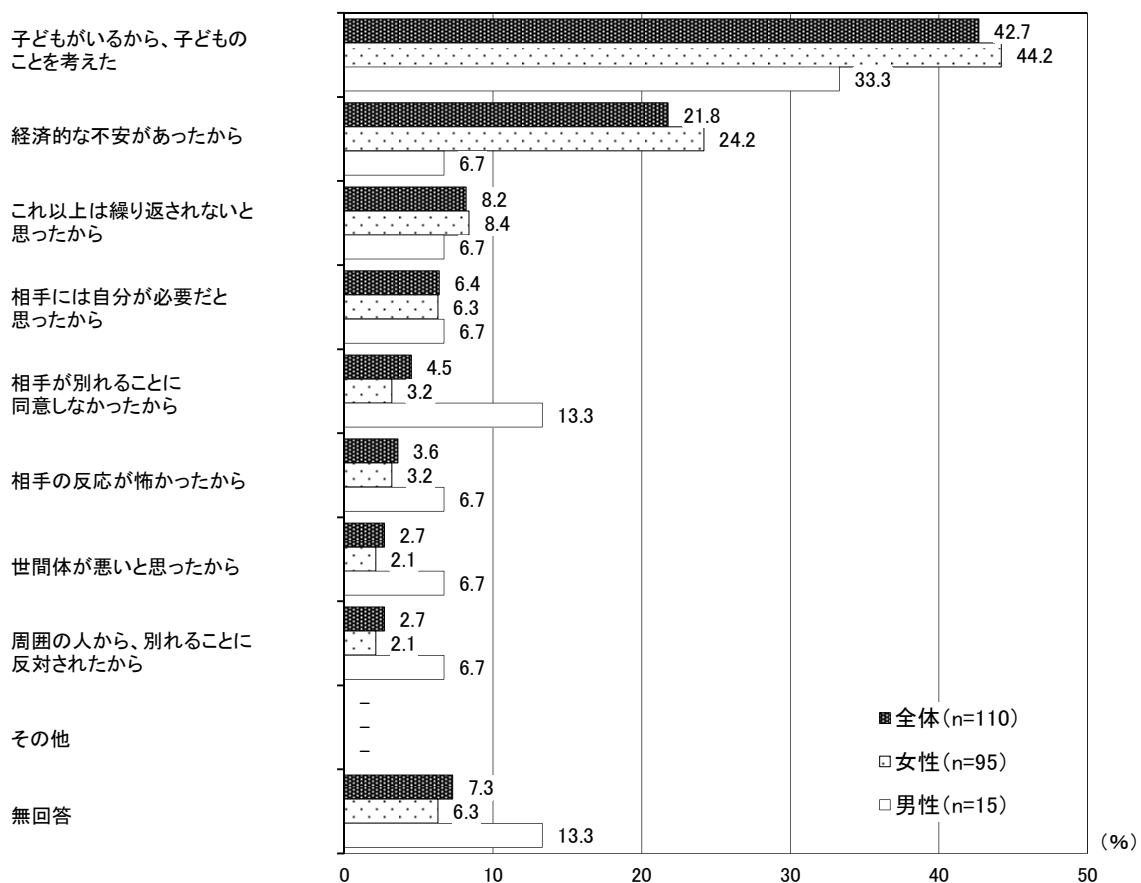
(3) 相手と別れなかった理由

【問 24SQ1で「2. 別れたい(別れよう)と思ったが、別れなかった」と答えた方におたずねします。】
 問 24SQ1-1. あなたが、相手と別れなかった最も大きな理由は何ですか。(○印は1つ)

配偶者等から暴力行為を受けたにも関わらず、相手と別れなかった理由を尋ねたところ、「子どもがいるから、子どものことを考えた」(42.7%)の割合が最も高く、次いで「経済的な不安があったから」(21.8%)と、この2項目が主な回答となっている。

性別にみると、男女とも「子どもがいるから、子どものことを考えた」(女性:44.2%、男性33.3%)の割合が最も高く、次いで、女性は「経済的な不安があったから」(24.2%)、男性は「相手が別れることに同意しなかったから」(13.3%)の割合が高くなっている。なお、女性では「子どもがいるから、子どものことを考えた」、「経済的な不安があったから」の割合が男性を大きく上回っており、逆に男性は「相手が別れることに同意しなかったから」が女性の割合を大きく上回っている。

■ 相手と別れなかった理由 (全体) ■



性・年代別にみると、女性はいずれの年代も「子どもがいるから、子どものことを考えた」の割合が最も高くなっている。男性はサンプル数が少ないため、参考程度の掲載とする。

■相手と別れなかった理由（性・年代別）■

	サンプル数	か ら 相 手 の 反 応 が 怖 か っ た	か ら 経 済 的 な 不 安 が あ っ た	か ら 世 間 体 が 悪 い と 思 っ た	と 相 手 に は 自 分 が 必 要 だ と 思 っ た か ら	こ れ 以 上 は 繰 り 返 さ れ な い と 思 っ た か ら	こ の 周 圍 の 人 か ら 、 別 れ か ら さ れ た か ら	意 相 手 が 別 れ る こ と に 同 意 し な か っ た か ら	ど も も が い る か ら 、 子 ど も の こ と を 考 え た	そ の 他	無 回 答	
全 体	110	3.6	21.8	2.7	6.4	8.2	2.7	4.5	42.7	-	7.3	
性・年代別	女性 計	95	3.2	24.2	2.1	6.3	8.4	2.1	3.2	44.2	-	6.3
	20 代	2	-	-	-	-	50.0	-	-	50.0	-	-
	30 代	6	16.7	16.7	-	-	-	-	-	66.7	-	-
	40 代	15	-	26.7	-	-	6.7	13.3	6.7	40.0	-	6.7
	50 代	23	4.3	26.1	-	17.4	4.3	-	4.3	39.1	-	4.3
	60 代	32	3.1	28.1	3.1	3.1	9.4	-	3.1	40.6	-	9.4
	70代以上	17	-	17.6	5.9	5.9	11.8	-	-	52.9	-	5.9
	男性 計	15	6.7	6.7	6.7	6.7	6.7	6.7	13.3	33.3	-	13.3
	20 代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	30 代	4	25.0	-	-	-	-	-	25.0	25.0	-	25.0
40 代	1	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	
50 代	6	-	-	16.7	-	-	-	16.7	50.0	-	16.7	
60 代	2	-	-	-	-	-	50.0	-	50.0	-	-	
70代以上	2	-	-	-	50.0	50.0	-	-	-	-	-	

(単位:%)

(4) 配偶者等からうけた行為によって命の危険を感じたことの有無

【問 24 で1つでも「何度もあった」または「1・2度あった」と答えた方におたずねします。】

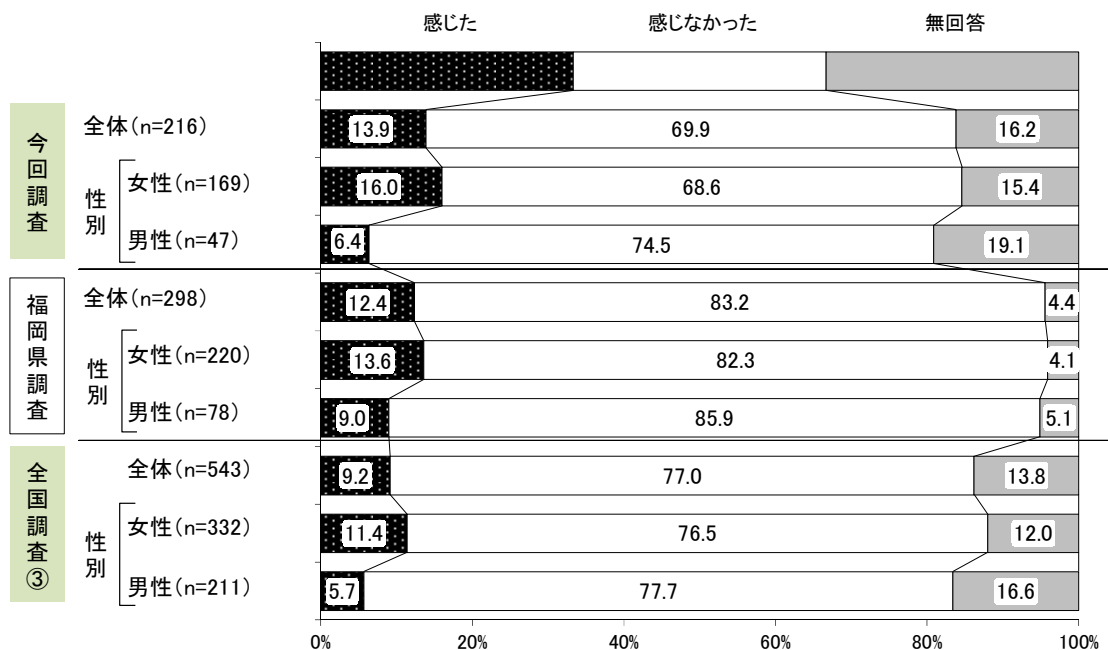
問 24SQ 2. あなたはこれまでに、配偶者等からうけた行為によって、命の危険を感じたことがありますか。(○印は1つ)

配偶者等からうけた行為によって命の危険を感じたことの有無を尋ねると、「感じた」と回答した割合は13.9%で、女性で16.0%、男性で6.4%と、女性が男性の2倍以上の割合となっている。

福岡県と比較すると、女性は県の値(13.6%)を2.4ポイント上回り、男性は県の値(9.0%)を2.6ポイント下回っている。

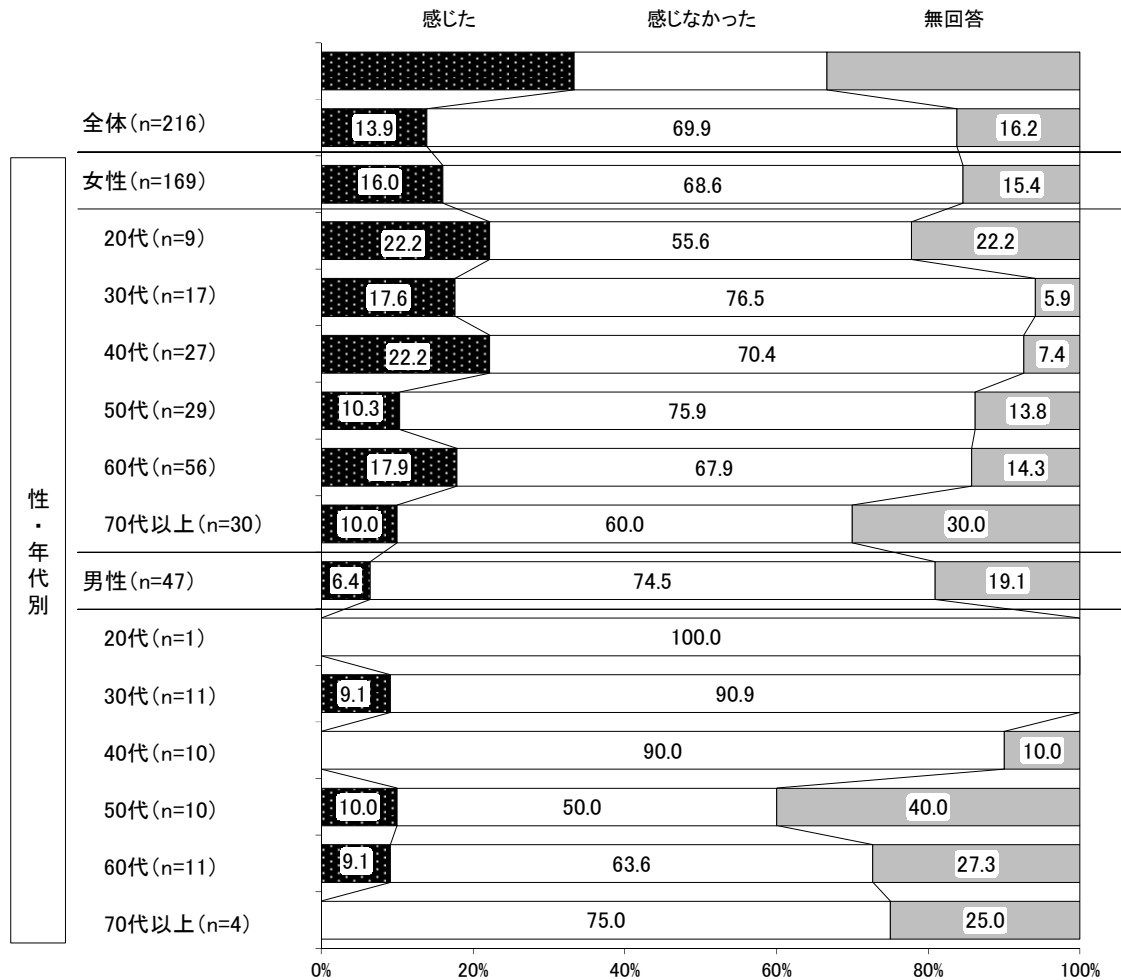
全国調査と比較すると、全体、男女とも「感じた」と回答した割合は全国の値を上回り、特に女性でその傾向が強い。

■ 配偶者等からうけた行為によって命の危険を感じたことの有無 (全体、性別) ■



性・年代別にみると、女性 20 代、40 代で「感じた」と回答した割合が 2 割を超えている。男性はサンプル数が少ないため、参考程度の掲載とする。

■ 配偶者等からうけた行為によって命の危険を感じたことの有無（性・年代別） ■



(5) 配偶者等からうけた暴力についての相談の有無

【問 24 で1つでも「何度もあった」または「1・2度あった」と答えた方におたずねします。】
 問 24SQ3. あなたは、配偶者等からうけた行為について、だれかに相談しましたか。
 (○印は1つ)

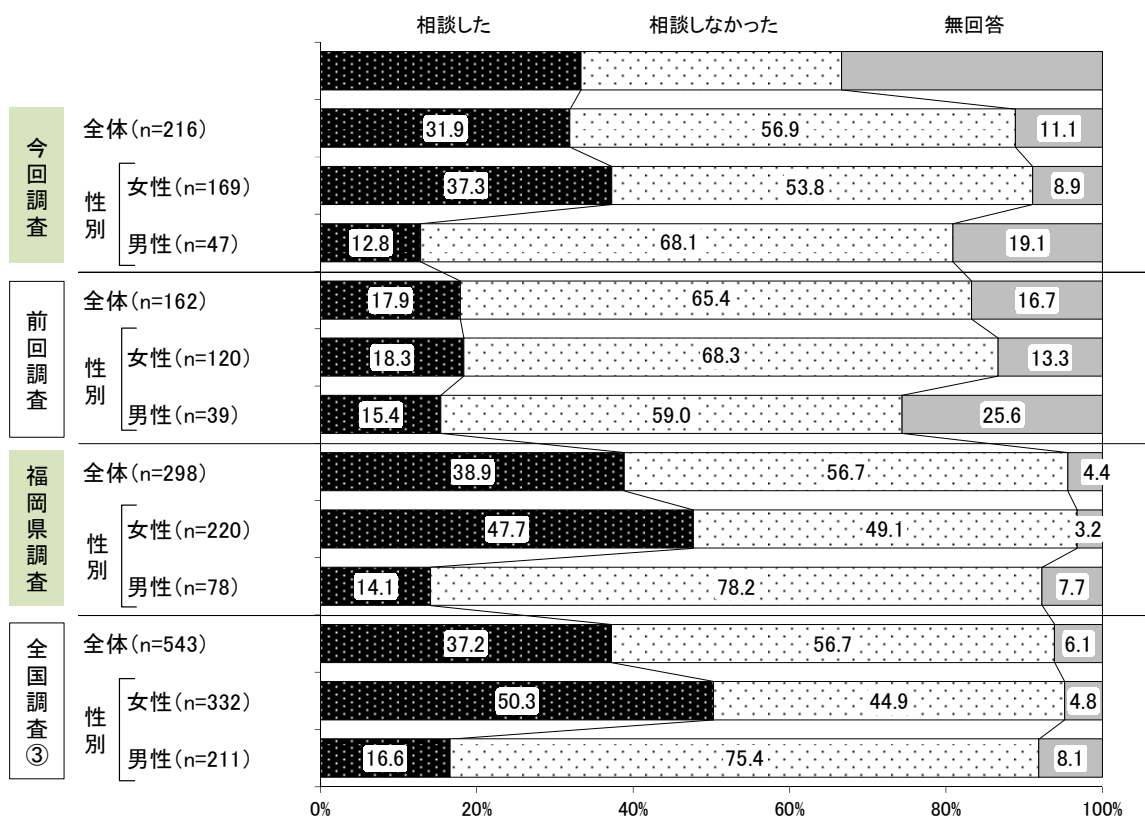
配偶者や交際相手からの暴力を経験した人に、暴力についての相談の有無を尋ねたところ「相談しなかった」(56.9%) 人が過半数を占めており、「相談した」(31.9%) 人は3割程度となっている。

性別にみると、男女とも「相談しなかった」人の割合は過半数を占めているが、「相談した」人の割合は女性が37.3%と男性(12.8%)の約3倍程度となっている。

前回調査と比較すると、「相談した」人は全体で14.0ポイント、女性で19.0ポイント増加しているものの、男性では2.6ポイント減少している。

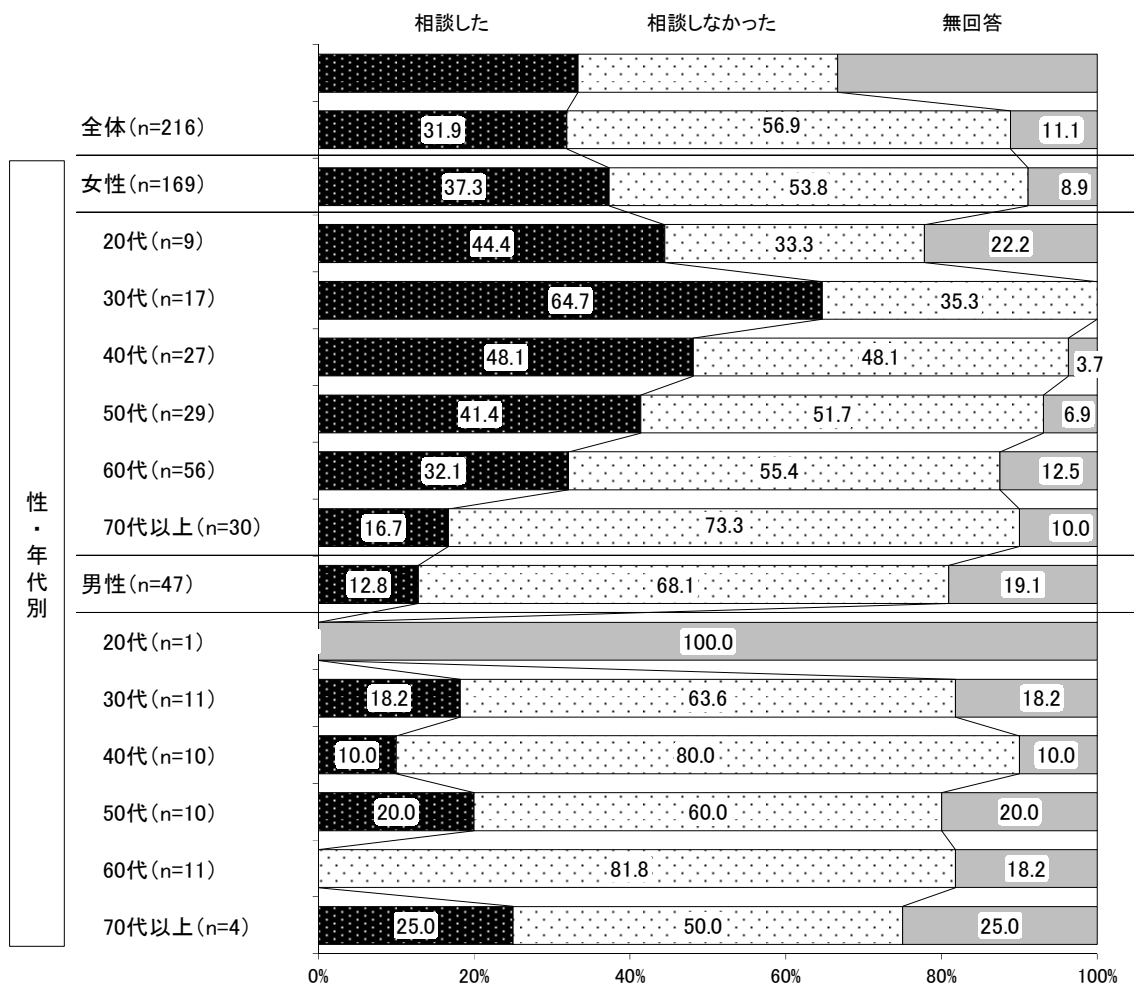
福岡県調査、全国調査と比較すると、「相談した」と回答した割合はいずれも県・全国の値を下回り、特に女性でその傾向が強くみられる。

■ 配偶者等からうけた暴力についての相談の有無 (全体、性別) ■



性・年代別にみると、女性は30代～70代以上においては、年代が下がるにつれて「相談した」と回答した割合が高くなっている。男性は、サンプル数が少ないため参考程度の掲載とする。

■ 配偶者等からうけた暴力についての相談の有無（性・年代別） ■



(6) 配偶者等からうけた暴力についての相談先

【問 24SQ3で「1. 相談した」と答えた方におたずねします。】

問 24SQ3-1. どこに相談されましたか。(〇はいくつでも)

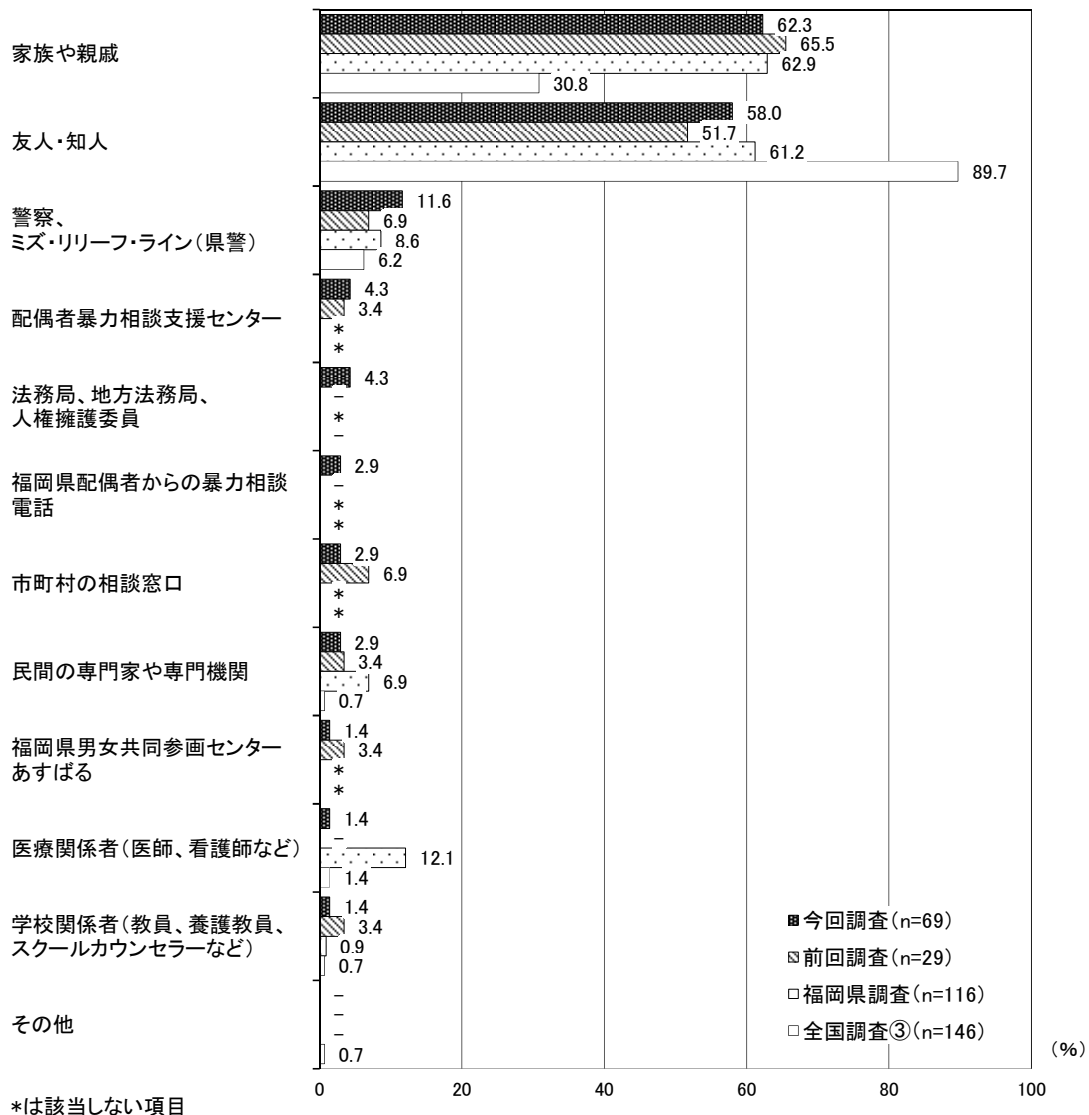
配偶者等からうけた暴力行為の相談先について尋ねたところ「家族や親戚」(62.3%)と「友人・知人」(58.0%)の2項目が群を抜いている。暴力行為の相談先として警察や行政の窓口等に相談する人はあまりみられず、ほとんどの人は身近な人たちに相談していることがわかる。

前回調査と比較すると、大きな変化はみられないものの、「警察、ミズ・リリーフライン(県警)」、「配偶者暴力相談支援センター」、「法務局、地方法務局、人権擁護委員」、「福岡県配偶者からの暴力相談電話」などの警察や行政窓口等の割合がわずかではあるがいずれも増加している。

福岡県調査と比較すると、「医療関係者(医師、看護師など)」の割合が県の値(12.1%)を10.7ポイント下回っている。

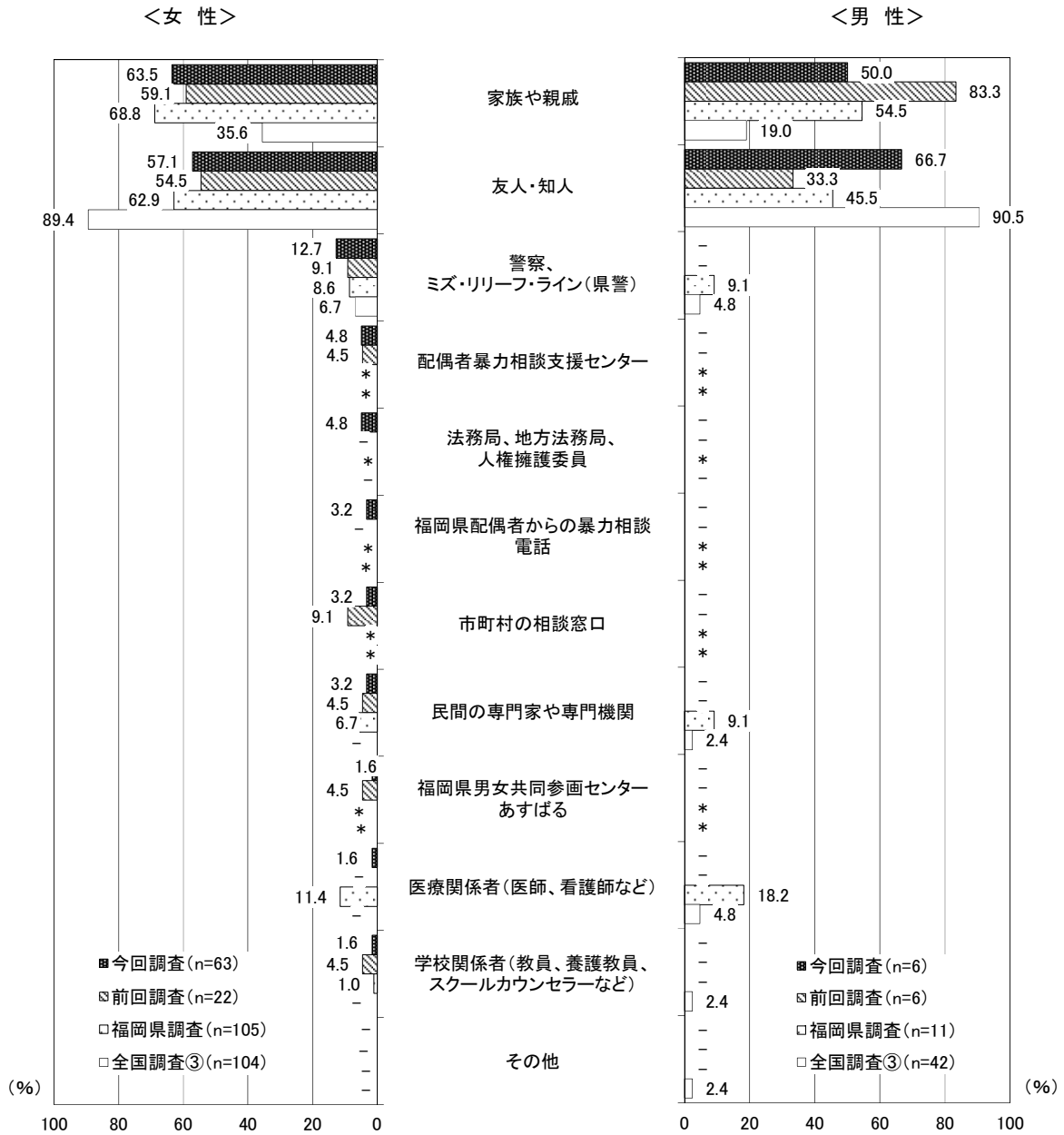
全国調査と比較すると、「家族や親戚」の割合が国の値(30.8%)を31.5ポイント上回り、逆に「友人・知人」の割合が国の値(89.7%)を31.7ポイント下回っている。

■ 配偶者等からうけた暴力についての相談先 (全体) ■



性別にみると、女性は全体結果と同様の傾向がみられる。男性は、サンプル数が少ないため参考程度の掲載とする。

■配偶者等からうけた暴力についての相談先（性別）■



*は該当しない項目

(7) 配偶者等からの暴力について相談しなかった理由

【問 24SQ3で「2. 相談しなかった」と答えた方におたずねします。】

問 24SQ3-2. どこ(だれ)にも相談しなかったのはなぜですか。(○印はいくつでも)

配偶者や交際相手からの暴力について「相談しなかった」と回答した人に、その理由を尋ねたところ、「相談するほどのことではないと思ったから」(40.7%)の割合が最も高く、次いで「自分にも悪いところがあると思ったから」(35.0%)、「相談しても無駄だと思ったから」(31.7%)、「自分さえがまんすればなんとかこのままやっていけると思ったから」(26.8%)、「子どものためにがまんするしかないと思ったから」(22.8%)の順となっている。

前回調査と比較すると、「自分さえがまんすればなんとかこのままやっていけると思ったから」が前回調査から7.0ポイント増加し、「子どものためにがまんするしかないと思ったから」が5.5ポイント減少している。

福岡県調査と比較すると、「子どものためにがまんするしかないと思ったから」の割合は県の値を9.2ポイント上回り、逆に「相談するほどのことではないかと思ったから」は、県の値を7.2ポイント下回っている。

全国調査と比較すると、「相談しても無駄だと思ったから」、「自分さえがまんすればなんとかこのままやっていけると思ったから」は国の値を10ポイント以上上回っており、逆に「そのことについて思い出さなくなかったから」の割合は国の値を10ポイント以上下回っている。

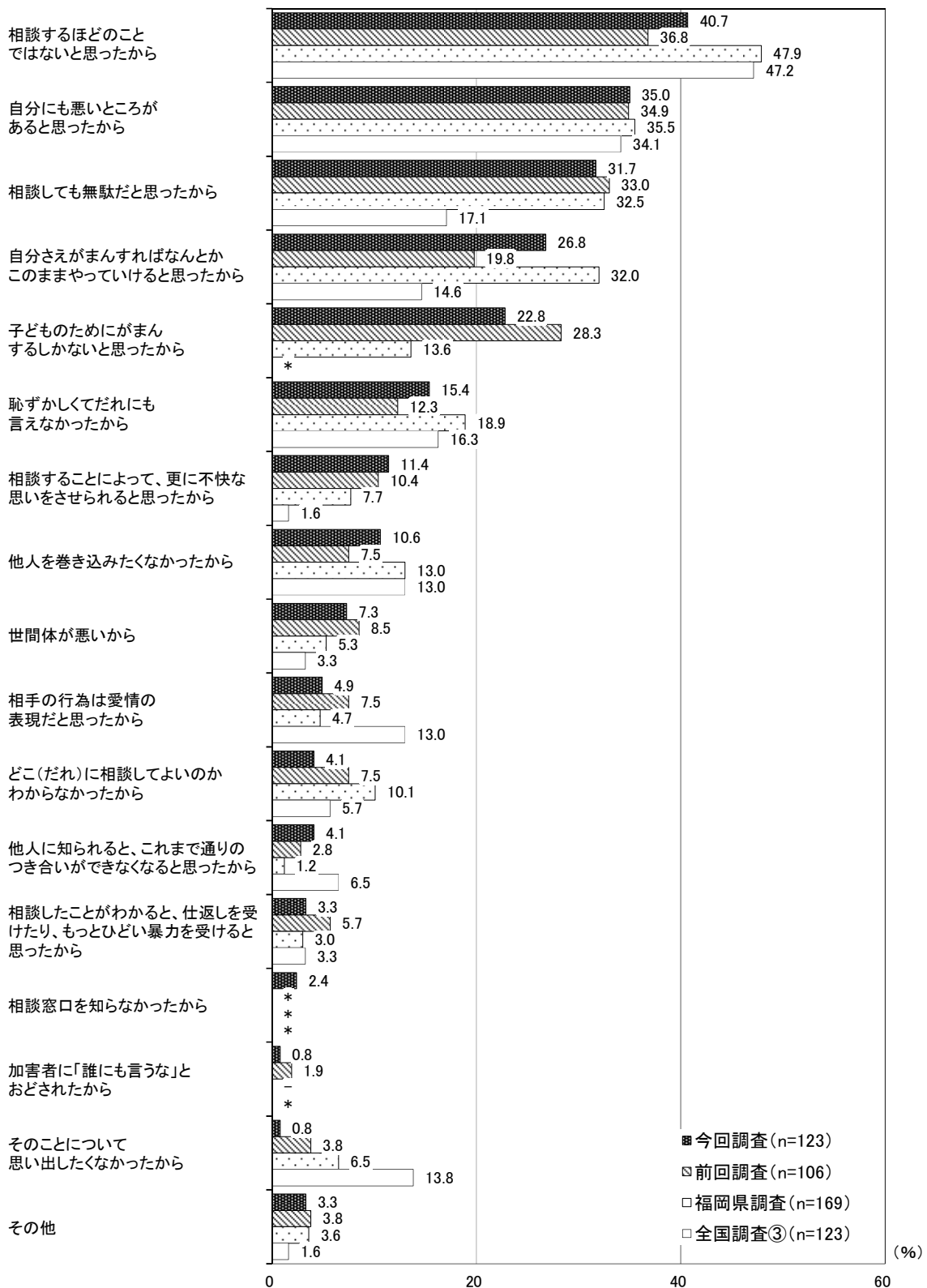
性別にみると、女性は「自分さえがまんすればなんとかこのままやっていけると思ったから」と回答した人の割合が、女性30.8%に対して男性が15.6%と女性が男性を大きく上回っており、逆に「相談しても無駄だと思ったから」は男性が43.8%、女性が27.5%と男性が女性を大きく上回っている。

前回調査では「子どものためにがまんするしかないと思ったから」と回答した人の割合は女性32.9%、男性8.7%と、女性が男性を大きく上回っていたが、今回調査では女性24.2%、男性18.8%と、女性が男性を上回っている点では同様であるが、男女差が小さくなっている。

福岡県の調査と比較すると、男性は「自分さえがまんすればなんとかこのままやっていけると思ったから」、「恥ずかしくてだれにも言えなかったから」が県の値を10ポイント以上下回っている。また、「相談するほどのことではないと思ったから」では女性が県の値を16.0ポイント下回っているのに対し、男性は9.4ポイント上回っており、男女で傾向が異なっている。

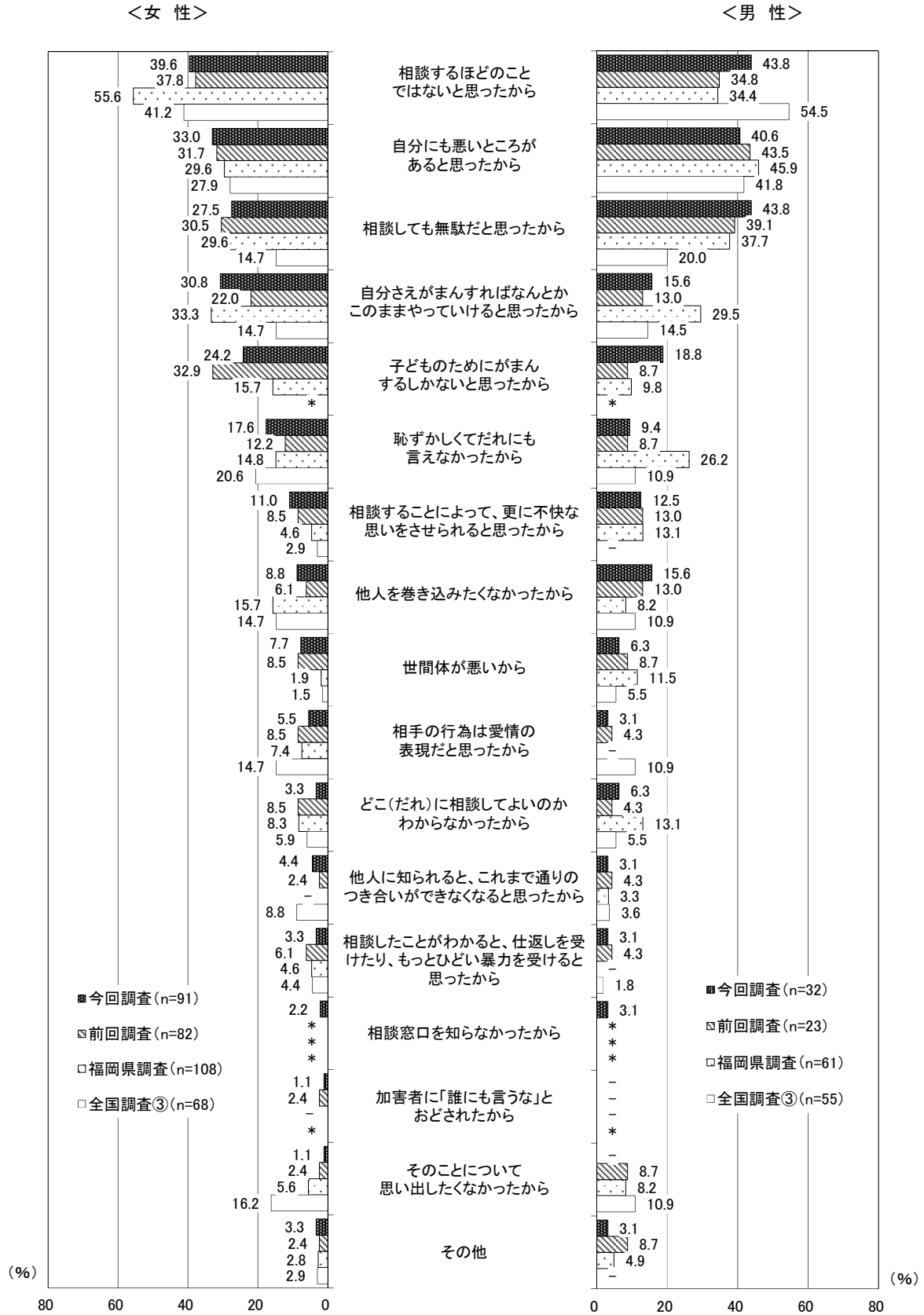
全国調査と比較すると、男女とも「相談しても無駄だと思ったから」の割合は、国の値を2倍程度上回っている。また、女性では「自分さえがまんすればなんとかこのままやっていけると思ったから」も2倍程度の割合となっている。

■ 配偶者等からの暴力について相談しなかった理由（全体） ■



*は該当しない項目

■ 配偶者等からの暴力について相談しなかった理由（性別） ■



*は該当しない項目

性・年代別については、サンプル数が少ないため、参考程度の掲載とする。

■配偶者等からの暴力について相談しなかった理由（性・年代別）■

	サンプル数	相談するほどではないと思っただから	自分にも悪いところがあると思っただから	相談しても無駄だと思っただから	このままやっていると自分さえがまんすればなんとかなうと思っただから	子どものためがまんするしかないと思っただから	恥ずかしくてだれにも言えなかつたから	快な思いをさせられると思っただから	他人を巻き込みたくなかつたから	世間体が悪いから	相手の行為は愛情の表現だと思っただから	どこ（だれ）に相談してよいかわからなかつたから	他人に知られると、これまで通りのつき合いができなくなると思っただから	相談したことがわかると、仕返しを受けたり、もっとひどい暴力を受けると思っただから	相談窓口を知らなかつたから	加害者に「誰にも言うな」とおどされたから	そのことについて思い出しなかつたから	その他	
全体	123	40.7	35.0	31.7	26.8	22.8	15.4	11.4	10.6	7.3	4.9	4.1	4.1	3.3	2.4	0.8	0.8	3.3	
性・年代別	女性計	91	39.6	33.0	27.5	30.8	24.2	17.6	11.0	8.8	7.7	5.5	3.3	4.4	3.3	2.2	1.1	1.1	3.3
	20代	3	-	33.3	33.3	-	33.3	-	33.3	33.3	-	-	33.3	-	33.3	-	-	-	-
	30代	6	50.0	33.3	-	33.3	16.7	16.7	-	33.3	16.7	16.7	-	16.7	16.7	-	-	-	-
	40代	13	30.8	15.4	30.8	23.1	23.1	30.8	-	7.7	7.7	-	-	-	-	-	-	-	23.1
	50代	15	33.3	53.3	33.3	40.0	33.3	20.0	13.3	13.3	13.3	6.7	6.7	-	6.7	6.7	-	-	-
	60代	31	38.7	29.0	32.3	32.3	16.1	9.7	12.9	6.5	6.5	3.2	-	-	-	-	-	-	-
	70代以上	22	50.0	31.8	22.7	31.8	31.8	22.7	13.6	-	4.5	4.5	4.5	13.6	4.5	-	4.5	4.5	-
	女性・年齢無回答	1	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-
	男性計	32	43.8	40.6	43.8	15.6	18.8	9.4	12.5	15.6	6.3	3.1	6.3	3.1	3.1	3.1	-	-	3.1
	20代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	30代	7	57.1	57.1	42.9	14.3	-	-	-	28.6	-	14.3	-	-	-	-	-	-	-
	40代	8	62.5	37.5	25.0	-	12.5	-	-	12.5	-	-	-	-	-	-	-	-	12.5
	50代	6	-	50.0	50.0	16.7	16.7	16.7	-	16.7	16.7	-	-	16.7	-	-	-	-	-
60代	9	44.4	22.2	44.4	22.2	33.3	22.2	22.2	-	11.1	-	22.2	-	11.1	11.1	-	-	-	
70代以上	2	50.0	50.0	100.0	50.0	50.0	-	100.0	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

(単位:%)

(8) 身近な人が配偶者等からの暴力を受けていると知った時の行動

【問 24 で1つでも「4. 身近に経験した人がいる」と答えた方におたずねします。】

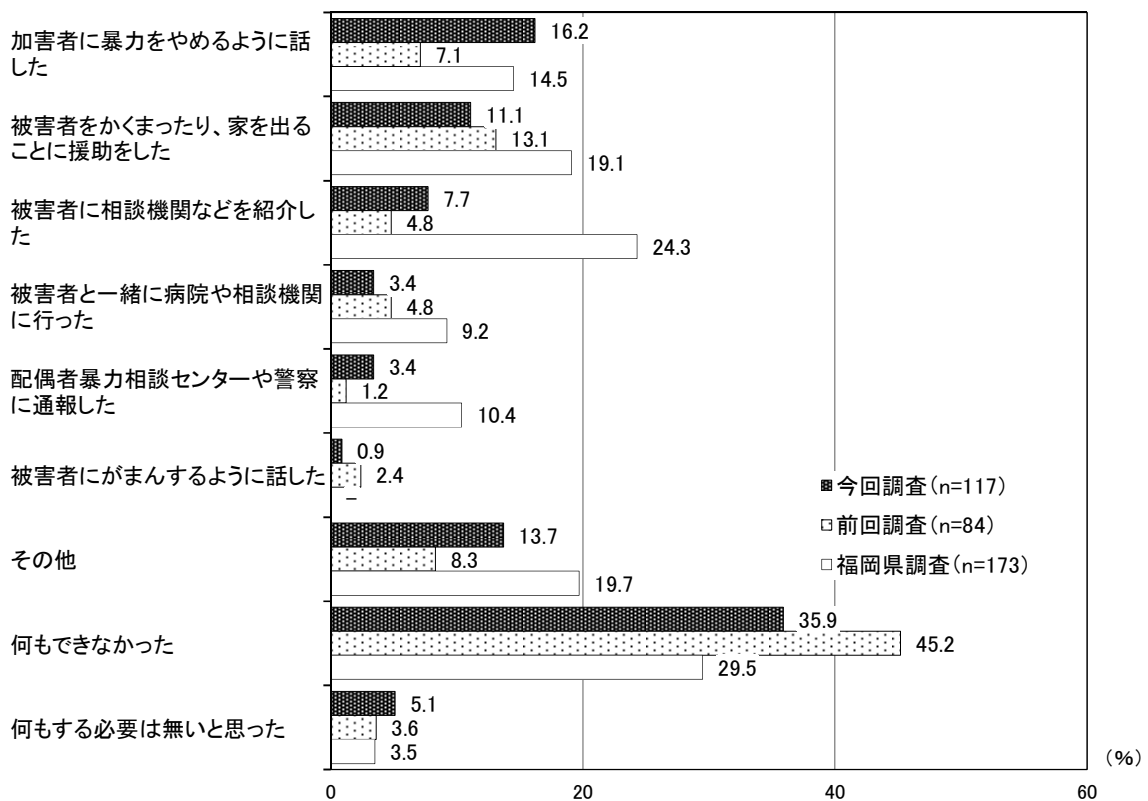
問 24S Q 4. そのことを知ってあなたはどうしましたか。(○印はいくつでも)

身近な人が配偶者や交際相手からの暴力を受けていると知った時の行動について尋ねたところ、「何もできなかった」(35.9%)の割合が最も高く、次いで「加害者に暴力をやめるように話した」(16.2%)、「被害者をかくまったり、家を出ることに援助をした」(11.1%)、「被害者に相談機関などを紹介した」(7.7%)の順となっている。

前回調査と比較すると、「何もできなかった」の割合が9.3ポイント減少し、「加害者に暴力をやめるように話した」が9.1ポイント増加している。

福岡県調査と比較すると、「加害者に暴力をやめるように話した」以外の具体的な対応においては、いずれも県の値を下回っている。

■ 身近な人が配偶者等からの暴力を受けていると知った時の行動 (全体) ■

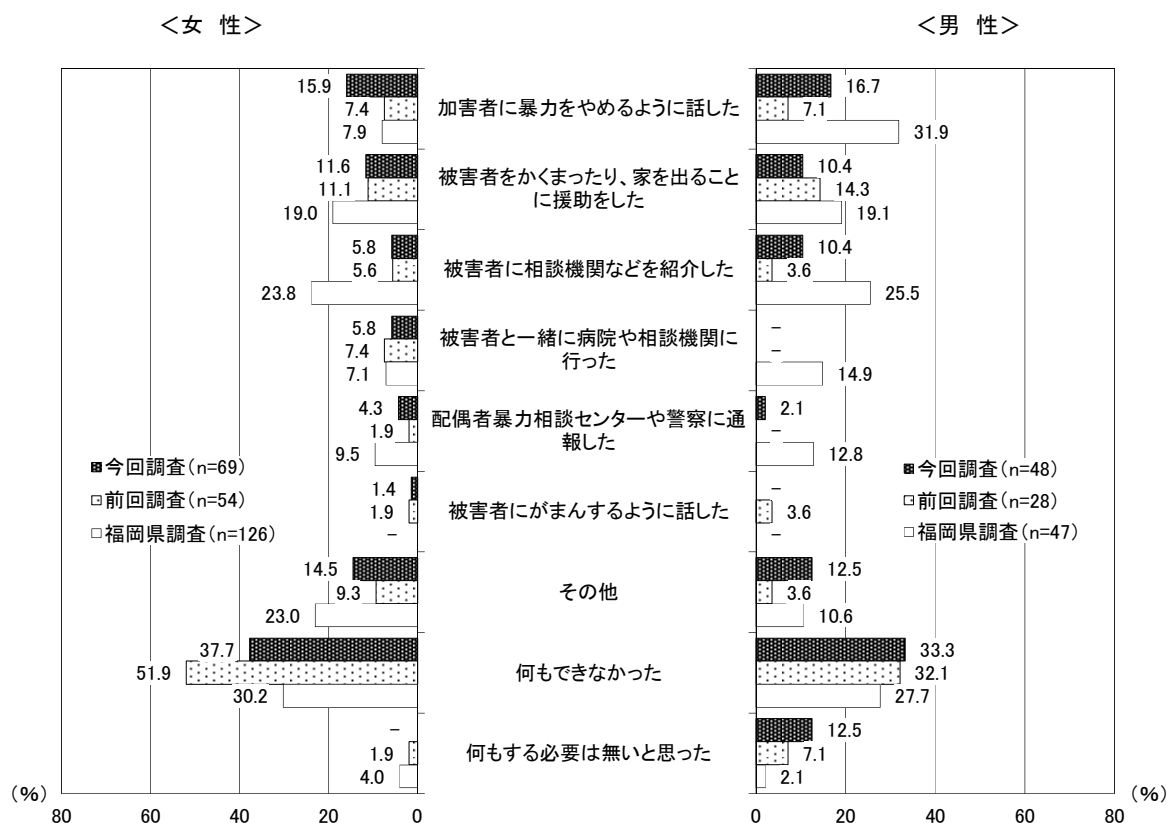


性別にみると、女性、男性いずれも「何もできなかった」と回答した人の割合が最も高い。具体的対応をみると、女性は「被害者と一緒に病院や相談機関に行った」の割合で男性を2倍程度上回り、男性は「被害者に相談機関などを紹介した」の割合で女性を2倍程度上回っている。

前回調査と比較すると、「何もできなかった」と回答した女性の割合が14.2ポイント減少しているのに対し、男性はわずかではあるが増加していることから、男女間に行動の違いがみられる。しかしながら、具体的対応をみると、女性、男性いずれも「加害者に暴力をやめるように話した」の割合がそれぞれ2倍以上増加している。また男性では、「被害者に相談機関などを紹介した」の割合も6.8ポイント増加している。

福岡県調査と比較すると、「加害者に暴力をやめるように話した」は女性が県の値(7.9%)を8.0ポイント上回っているのに対し、男性は県の値(31.9%)を15.2ポイント下回っており、男女で異なった傾向がみられる。それ以外の具体的対応策については、男女とも大部分が県の値を下回っている。

■身近な人が配偶者等からの暴力を受けていると知った時の行動(全体、性別) ■



性・年代別はサンプル数が少ないため参考程度の掲載とする。

■身近な人が配偶者や交際相手からの暴力を受けていると知った時の行動（性・年代別）■

		サンプル数	加害者に暴力をやめるように話した	援助をした	被害者をかくまったり、家を出ることにした	被害者に相談機関などを紹介した	被害者と一緒に病院や相談機関に行った	配偶者や警察に通報した	被害者がまんするようになった	その他	何もできなかった	何もする必要はないと思った	無回答
全体		117	16.2	11.1	7.7	3.4	3.4	0.9	13.7	35.9	5.1	14.5	
性・年代別	女性計	69	15.9	11.6	5.8	5.8	4.3	1.4	14.5	37.7	-	14.5	
	20代	5	-	20.0	20.0	20.0	20.0	-	20.0	20.0	-	20.0	
	30代	18	16.7	16.7	5.6	5.6	-	-	22.2	38.9	-	5.6	
	40代	11	27.3	-	9.1	-	-	-	-	45.5	-	18.2	
	50代	10	10.0	-	-	10.0	-	-	20.0	50.0	-	10.0	
	60代	19	21.1	21.1	5.3	5.3	10.5	5.3	5.3	31.6	-	15.8	
	70代以上	6	-	-	-	-	-	-	33.3	33.3	-	33.3	
	男性計	48	16.7	10.4	10.4	-	2.1	-	12.5	33.3	12.5	14.6	
	20代	2	-	-	-	-	-	-	-	50.0	-	50.0	
	30代	9	22.2	11.1	11.1	-	-	-	22.2	22.2	22.2	11.1	
40代	10	10.0	20.0	-	-	10.0	-	20.0	50.0	10.0	-		
50代	9	22.2	22.2	11.1	-	-	-	-	44.4	11.1	-		
60代	15	20.0	-	20.0	-	-	-	13.3	26.7	-	26.7		
70代以上	3	-	-	-	-	-	-	-	-	66.7	33.3		

(単位:%)

(9) パートナーに対する暴力をなくすための方策

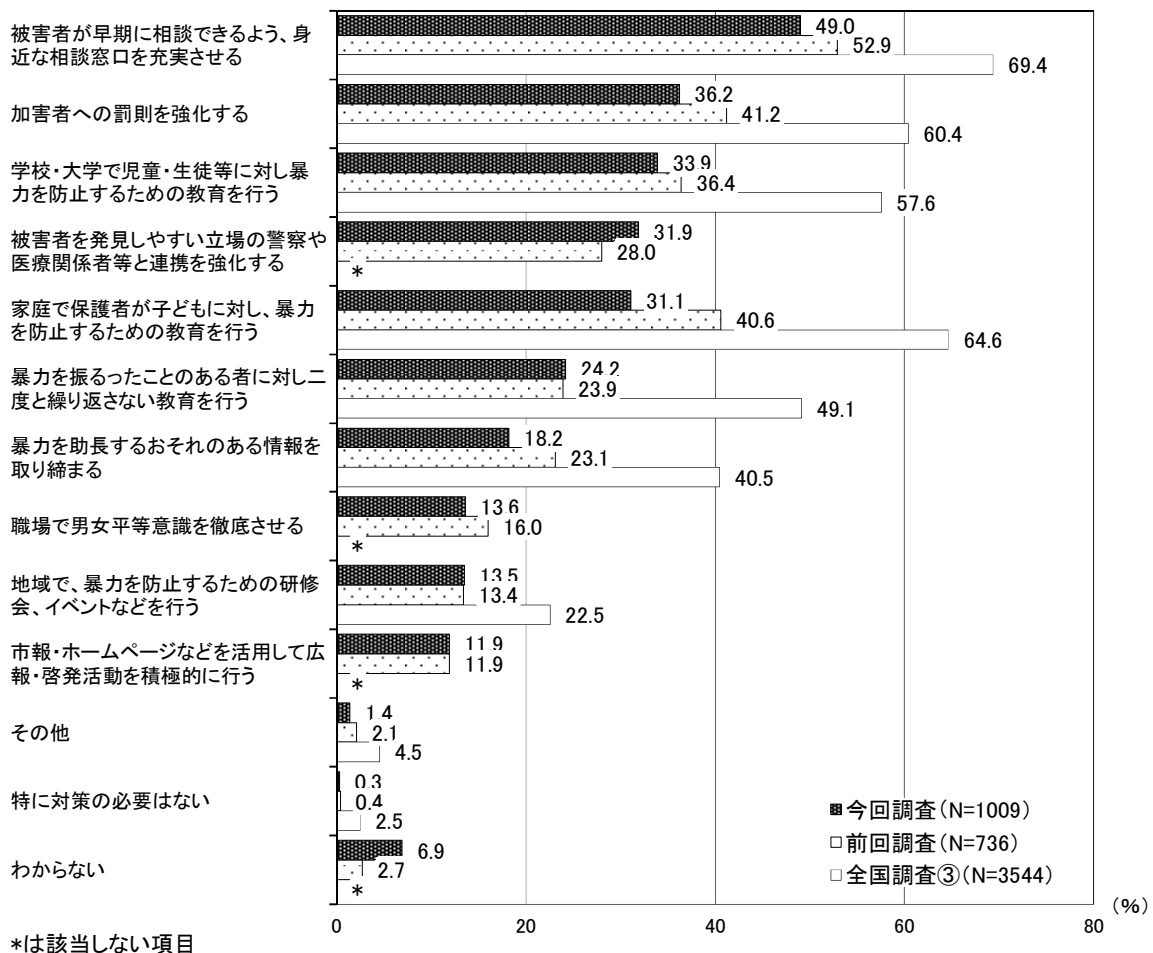
問 25. あなたは、パートナーに対する暴力（性犯罪、売買春、セクシュアル・ハラスメントなど）をなくすためにはどうしたらよいと思いますか。（○印はいくつでも）

パートナーに対する暴力をなくすための方策を尋ねたところ、「被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を充実させる」(49.0%)の割合が最も高く、次いで「加害者への罰則を強化する」(36.2%)、「学校・大学で児童・生徒等に対し暴力を防止するための教育を行う」(33.9%)の順となっている。

前回調査と比較すると、大部分の項目で割合の減少がみられる。特に「家庭で保護者が子どもに対し、暴力を防止するための教育を行う」は9.5ポイントの減少となっている。

全国調査と比較すると、いずれの項目についても国の値を大きく下回っている。

■ パートナーに対する暴力をなくすための方策（全体） ■

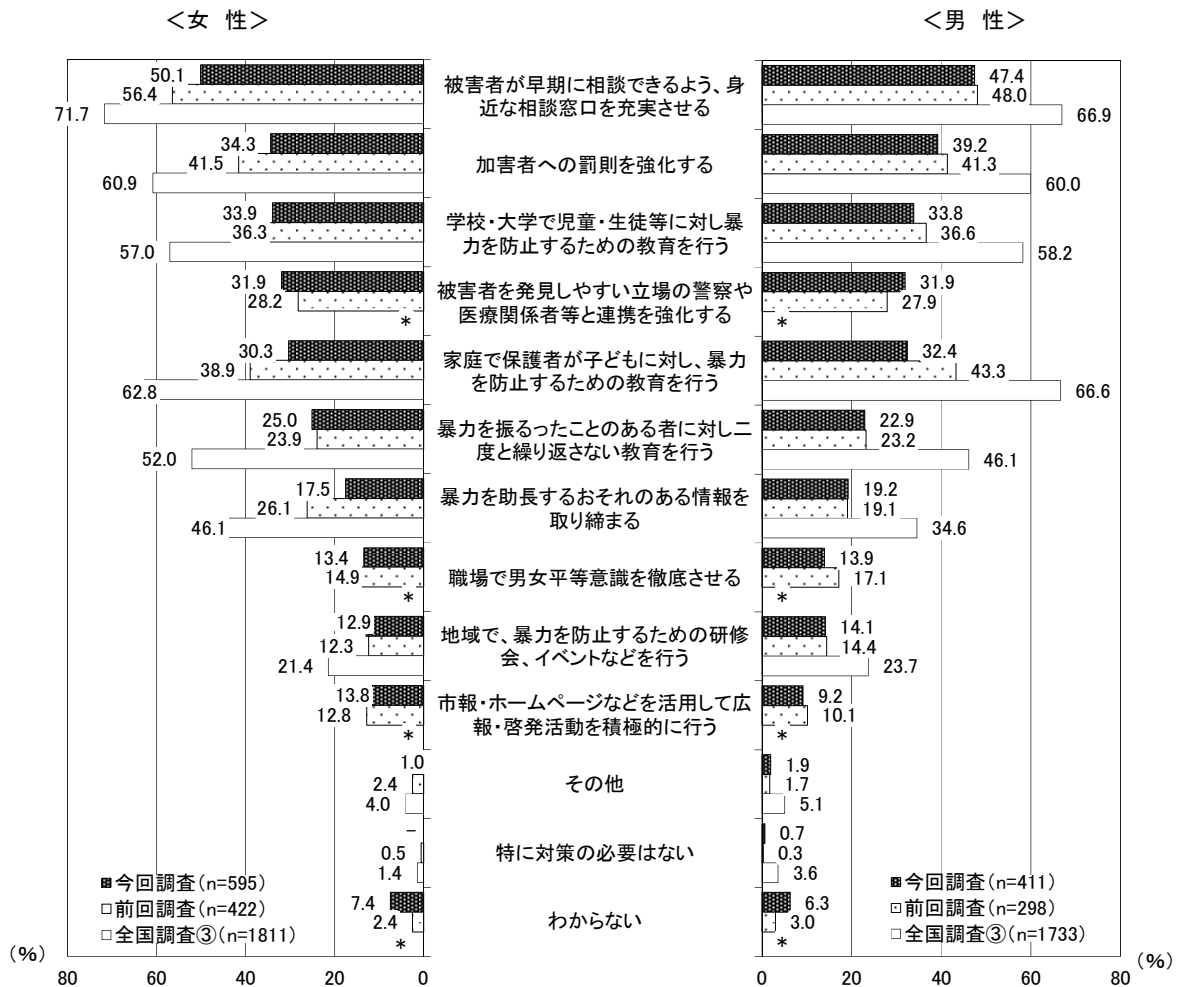


性別にみると、男女とも「被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を充実させる」の割合が最も高くなっている。

前回調査と比較すると、全体傾向と同様、男女とも大部分の項目で割合の減少がみられる。

全国調査と比較すると、全体傾向と同様、男女ともいずれの項目についても国の値を大きく下回っている。

■ パートナーに対する暴力をなくすための方策（性別） ■



*は該当しない項目

性・年代別にみると、男性の40代のみ「加害者への罰則を強化する」が全項目中最も高い割合となっている。また、男性では「被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を充実させる」が、年代が下がるにつれて割合が高くなる傾向がみられ、男性20代では7割を超えている。

■ パートナーに対する暴力をなくすための方策（性・年代別） ■

	サンプル数	被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を充実させる	加害者への罰則を強化する	学校で児童・生徒に対する暴力を防止する	連携を強化する	被害者や医療関係者などとの連携を強化する	家庭で保護者が子どもに暴力を防止する	加害者に対する二重教育を繰り返さない	ある情報を取り締まる	職場で男女平等意識を徹底させる	地域での研修会、イベントなどを開催する	市報・ホームページなどを利用して広報・啓発活動を行う	その他	特に対策の必要はない	わからない	無回答
全体	1009	49.0	36.2	33.9	31.9	31.1	24.2	18.2	13.6	13.5	11.9	1.4	0.3	6.9	13.9	
性・年代別	女性計	595	50.1	34.3	33.9	31.9	30.3	25.0	17.5	13.4	12.9	13.8	1.0	-	7.4	12.9
	20代	50	52.0	44.0	40.0	46.0	20.0	22.0	14.0	10.0	12.0	22.0	-	-	12.0	4.0
	30代	69	55.1	55.1	43.5	49.3	40.6	30.4	23.2	13.0	11.6	13.0	1.4	-	4.3	1.4
	40代	92	65.2	43.5	38.0	43.5	34.8	28.3	28.3	10.9	15.2	12.0	-	-	9.8	4.3
	50代	100	61.0	36.0	31.0	31.0	37.0	25.0	9.0	14.0	11.0	10.0	2.0	-	10.0	4.0
	60代	153	47.7	24.8	34.6	21.6	25.5	24.2	17.6	18.3	13.1	14.4	1.3	-	3.9	16.3
	70代以上	129	30.2	23.3	25.6	20.9	25.6	21.7	14.0	10.9	14.0	14.0	0.8	-	7.8	31.8
	女性・年齢無回答	2	50.0	-	-	100.0	50.0	50.0	50.0	-	-	50.0	-	-	-	-
	男性計	411	47.4	39.2	33.8	31.9	32.4	22.9	19.2	13.9	14.1	9.2	1.9	0.7	6.3	15.1
	20代	27	70.4	55.6	33.3	48.1	18.5	25.9	11.1	7.4	3.7	7.4	3.7	-	11.1	3.7
	30代	47	57.4	46.8	29.8	34.0	29.8	36.2	14.9	19.1	14.9	4.3	4.3	-	2.1	17.0
	40代	69	43.5	49.3	36.2	43.5	29.0	18.8	29.0	8.7	14.5	5.8	-	-	8.7	11.6
	50代	81	46.9	33.3	34.6	34.6	37.0	28.4	18.5	16.0	17.3	9.9	2.5	2.5	3.7	11.1
60代	107	45.8	43.0	42.1	26.2	38.3	25.2	16.8	11.2	17.8	12.1	1.9	0.9	6.5	11.2	
70代以上	80	40.0	21.3	22.5	20.0	28.8	8.8	20.0	18.8	8.8	11.3	1.3	-	7.5	30.0	
無回答	3	33.3	-	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	-	33.3	-	-	-	-	33.3	

(単位:%)

